

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 S20	
シリアルNo.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所	様 TEL ()
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

--

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

S20

取扱説明書

12V車専用

- ・本機で使用する専用ソフトは、付属の専用SDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページ (<https://www.yupiteru.co.jp/>) からダウンロードしてご利用ください。
- ・安心してお使いいただくために、必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。

HDR 搭載

(ハイダイナミックレンジ)

白トビや黒ツブレを抑え、
より明瞭な映像を記録します。

 **Bluetooth®**




このたびは、ユピテル製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからSDカードを抜いて保管してください。
- ・電源ONの状態ですDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ケーブルを取り外し、SDカードの抜き差しを行ってください。

確認とご注意

安全上のご注意	5
使用上のご注意	9
もしも事故が起きたら・・・	12
SDカードをフォーマットする	14

基礎知識

各部の名称と働き	17
1. 付属品	18
2. 別売品	18
3. 付属品・別売品の購入について	18
SDカードの装着/取り外し	19
1. SDカードを本体へ装着する	19
2. SDカードを本体から取り外す	20
SDカードカバーにネジを取り付ける	21
1. ネジを取り付ける	21
モードについて	22
1. DVR(ドライブレコーダー)モード	22
2. 接近監視モード	22
録画について(ACC ON時)	23
1. 常時録画	23
2. イベント記録(Gセンサー記録とワンタッチ記録)	24
録画について(ACC OFF時)	25
1. 駐車記録	26
2. イベント記録(近接近、衝撃、傾斜、ドア開)	27
ファイル容量の目安について	29
上書きモードについて	29
マルチトリガーについて	30
エリアセンサー (マイクロ波)の設定について	31
GPS機能について	31
メンテナンスについて	32
初期値について	33

設置と準備

本機の取り付け	35
1. 本機を取り付ける	36
2. 電源を接続する	38
別売品の取り付け	39
専用ソフトでの準備	42
1. 専用ソフトをインストールする	42
2. 設置角度検出をする	43
動作確認	45
1. センサーテストをする	45
2. テスト記録の確認	49

駐車監視

駐車監視について	51
1. 動作トリガ[マニュアル]の場合(初期値)	51
2. 動作トリガ[ACC OFF連動]の場合	52
3. 動作トリガ[エリアAUTO]の場合	52
4. 駐車監視を停止する	53
接近監視モード履歴について	53
キャンセルエリアについて	54
1. キャンセルエリアの登録	54
2. キャンセルエリア内の解除	55
3. 一時キャンセルエリアの登録	56

専用アプリ

専用アプリについて	57
Bluetoothペアリング	58
操作画面	61
1. 録画方法を変更する	62
2. 駐車監視を手動で開始する	63
3. 駐車監視を停止する	63
4. [エリアAUTO]のエリア感度を設定する	64
5. 設定画面を表示する	65
設定	66
1. 記録設定	66
2. 監視カメラ設定	67

専用ソフト

専用ソフトの使いかた 70

1. 録画データの準備 70
2. 画面説明 71
3. 表示エリアの操作 73

再生する 75

1. 録画データを再生する(イベント記録) 75
2. 録画データを再生する(常時録画) 76
3. ボタン操作について 77

保存する 79

1. バックアップ 79
2. 動画変換 80
3. 静止画変換 81

印刷する 82

履歴記録 83

ログデータ変換 85

レポート表示する 87

1. レポート表示(印刷)する(イベント記録) 87
2. レポート表示(印刷)する(常時録画) 89
3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録) 91

設定画面の表示方法 93

設定 94

1. 記録設定 95
2. 衝撃感度設定 97
3. 監視カメラ設定 98
4. 動作設定 99
5. センサ設定 99
6. 記録時間(マルチバッテリー) 100
7. システム 102
8. 日時設定 102
9. 使用機種 102

インフォメーション 104

その他

別売品の SDカードを使用する前に 105

SDカードの機種設定の確認/変更 107

1. SDカードの機種設定を確認する 107
2. SDカードの機種設定を変更する 108

動作一覧 109

こんなときは 111

故障かな?と思ったら 112

仕様 115

録画時間の目安 117

1. 常時録画の録画時間 117
2. 駐車監視の録画時間 118
3. イベント記録の目安記録件数 118

索引 120

アフターサービス 123

保証書 裏表紙

●重要事項●



必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。

なぜSDカードのフォーマットが必要なのか…

SDカードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。

数ヶ月に一度SDカードをフォーマット（☛ P.14）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、SDカード内にある録画ファイルは全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（☛ P.79）

●SDカードは消耗品です。

フォーマットしてもSDカードエラー（☛ P.111）が頻繁に起こる場合は、SDカードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SDカードの買換えは純正品をお勧めします。

どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。

お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店にSDカードをご注文ください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源ケーブルを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

▶ P.123「アフターサービス」

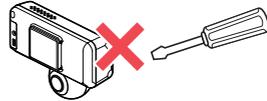
- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**
- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**
- ⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源ケーブルを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ⊘ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ⊘ 本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。

爆発や火災の原因となります。

- ⚠ SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 結露したまま使い続けしないでください。

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘ 落としたり、強いショックを与えないでください。

破損、故障の原因となります。

- ⊘ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。

故障の原因となります。

- ⊘ 濡れた手で操作しないでください。

感電の原因となります。



- ⊘ 本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。

故障の原因となります。

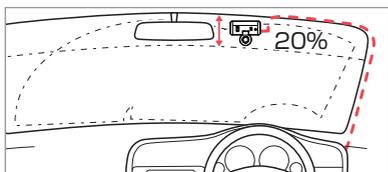
- ⚠ 本機は精密機械です。

静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

⚠ 警告

- ❗ 取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

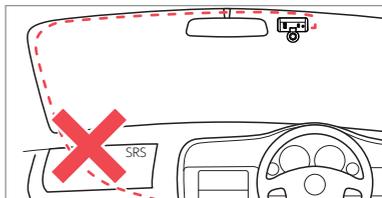


- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ⊘ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

- ❗ 接続部は確実に奥まで差し込んでください。動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

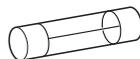
●電源ケーブルについて

⚠ 警告

- ❗ 取り付け作業中はバッテリーのマイナス端子をはずしてください。バッテリーのマイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートによる故障や感電、ケガの原因となります。
- ❗ コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。異常過熱や発火の原因となります。
- ❗ 電源ケーブルは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。車両の電装品(ブレーキ、ライト、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。
- ❗ お手入れの際は、電源ケーブルを抜いてください。感電の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

交換ヒューズ2A
(20mm × 5.2mm)



- ❗ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❗ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

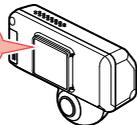


●SDカードについて

⚠ 警告

- ❗ SDカードの出し入れは、本機の電源がONになっていないことを確認して行ってください。

OFF



- ❗ SDカードは一方にしか入りません。挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、ランプの注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やケガの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ⊘ 海外ではご使用にならないでください。
本機は日本国内仕様です。

- ⊘ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ⊘ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ⊘ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ 映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に録画ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルを上書きされないよう必ずSDカードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

電源ケーブルに関する注意

- ・ 電源ケーブルは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ 電源ケーブル内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ SDカードに関する注意

- SDカードは必ず付属品が別売品を使用してください。市販品のSDカードを使用すると、正常に録画できない場合があります。
- SDカードリーダーライターは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなる場合があります。
- SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- SDカードはNAND型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、数ヶ月に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- SDカードは消耗品ですので、定期的な新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーになり使用できない場合があります。
- SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切の責任を負いません。
- SDカードは必ず専用ソフトでフォーマットしてから使用してください。

■ GPS測位に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 電波干渉について(Bluetooth)

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、およびアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様ご相談センターに御連絡いただき、混信回避の措置などについてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、お客様ご相談センターへお問い合わせください。(P.123)

2.4 FH 1

- この表示は2.4GHz帯を使用している製品であることを意味します。

2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。

FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。

1 : 電波干渉距離は10mです。

- 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可です。

■ 保証に関する注意

- 本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源ケーブル、SDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 駐車監視に関する注意

- ・強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、窓ガラスやボディへの衝撃を検知してイベント記録する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や雷などの騒音が発生している場所では、本機のセンサーが働き、イベント記録することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。
- ・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)や車両の窓ガラスにフィルムが貼ってある場合に、材質によってはエアロセンサーで検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。
- ・窓ガラスに雪が積もっていると、エアロセンサーで検知できにくい場合やできないことがあります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- ・整備や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両のエンジンOFF後、動作トリガによって駐車監視が行われる旨をお伝えください。

■ 電波法に関する注意

- ・本体の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 真夏などの炎天下での注意

- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが書き換えられないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。



・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

1 イベント記録中ではないことを確認する

録画ランプで確認してください。
(イベント記録中：早い青点滅)



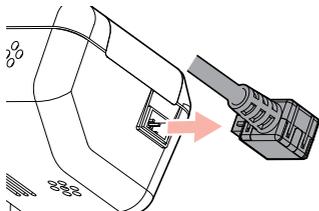
録画ランプ
(消灯)

2 車両のエンジンをOFFする

※動作トリガによって動作は異なります。
(☛ P.51)

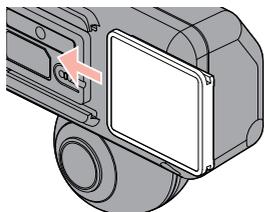
「3. 本体の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す」へお進みください。

3 本体の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す



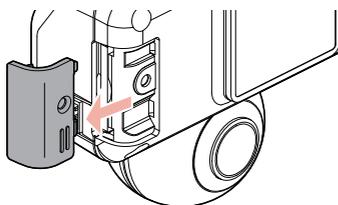
電源OFF後、録画ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

4 本体をブラケットから取り外す

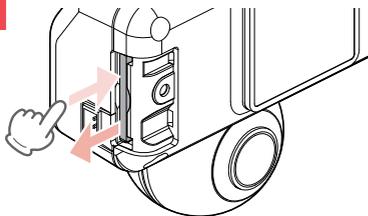


本体をブラケットに押し付けながら矢印の方向にスライドさせてください。

5 SDカードカバーを外す



6 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートとの隙間などに入り込む可能性があります。

7 SDカードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードをフォーマットしてください。定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

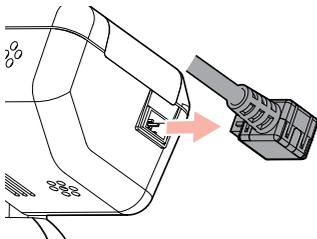
※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したSDカードリーダーライターやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

SDカードフォーマットの手順

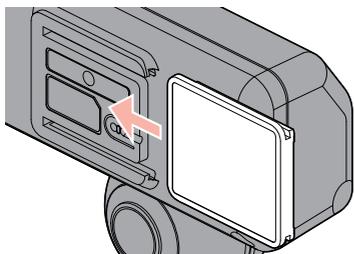
1 車両のエンジンをOFFする

※動作トリガによって動作は異なります。
(● P.51)

2 本体の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す

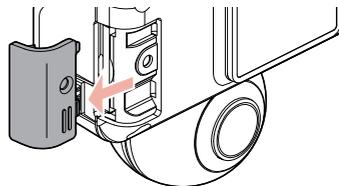


3 本体をブラケットから取り外す

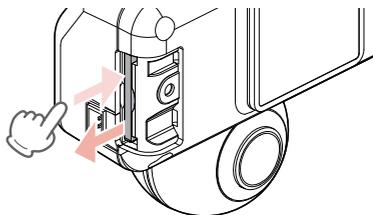


本体をブラケットに押し付けながら矢印の方向へスライドさせてください。

4 SDカードカバーを外す

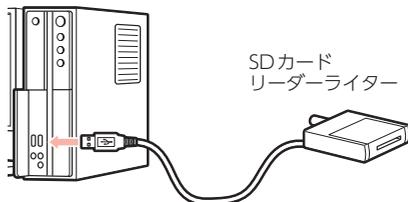


5 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出させてから引き抜く

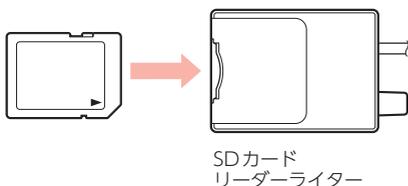


※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

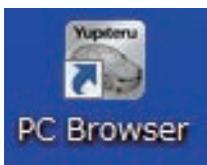
6 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



7 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



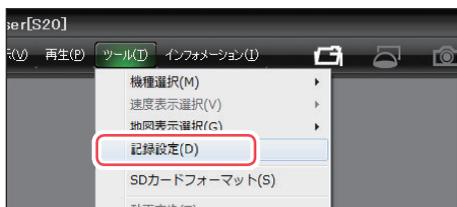
8 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



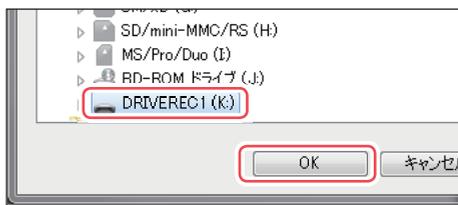
9 メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[S]→[S20]を選択する



10 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



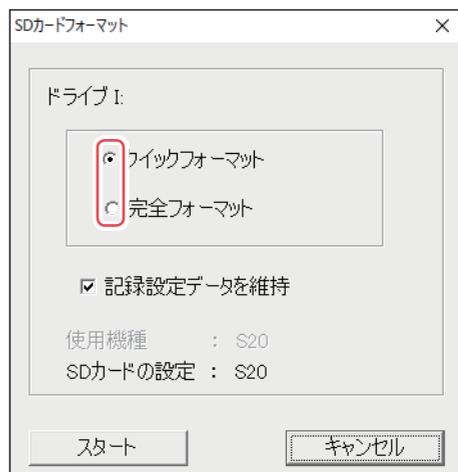
11 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



12 [SDカードフォーマット]をクリックする

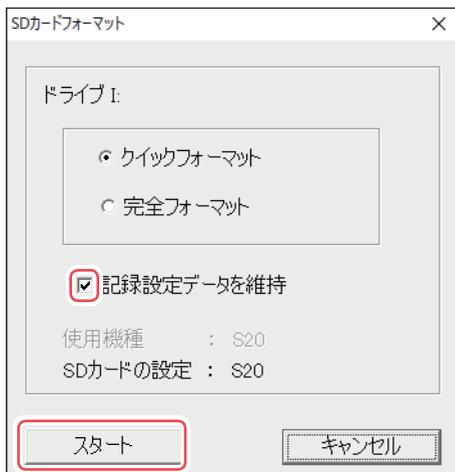


13 [クイックフォーマット]と[完全フォーマット]のいずれかを選択する



- ・クイックフォーマット
録画データを消去する簡易的なフォーマットのため短時間で終了します。
- ・完全フォーマット
SDカード内のチェックを行いながらフォーマットするため時間がかかります。

14 [記録設定データを維持]を確認し、[スタート]をクリックする

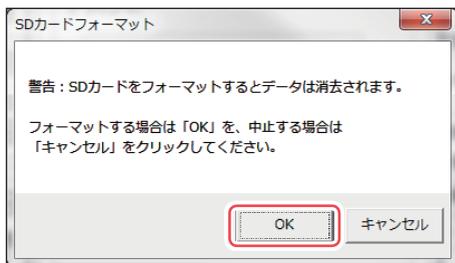


・ 記録設定データを維持

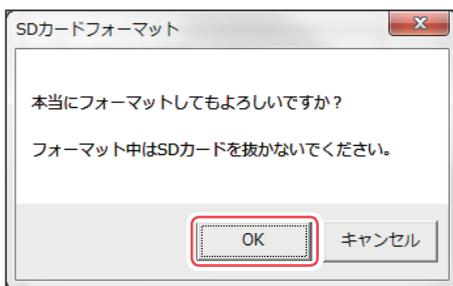
SDカードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。

を外すと工場出荷の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

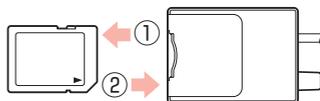
15 [OK]をクリックする



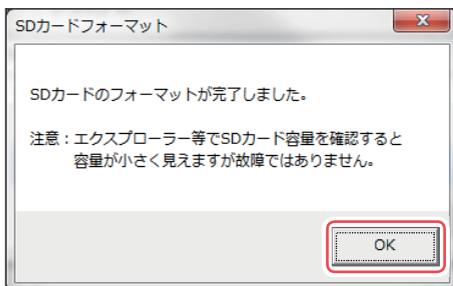
16 [OK]をクリックする



※完全フォーマットの場合、下記の画面が表示されます。画面の説明に従ってSDカードの抜き差しを行ってください。



17 [OK]をクリックする

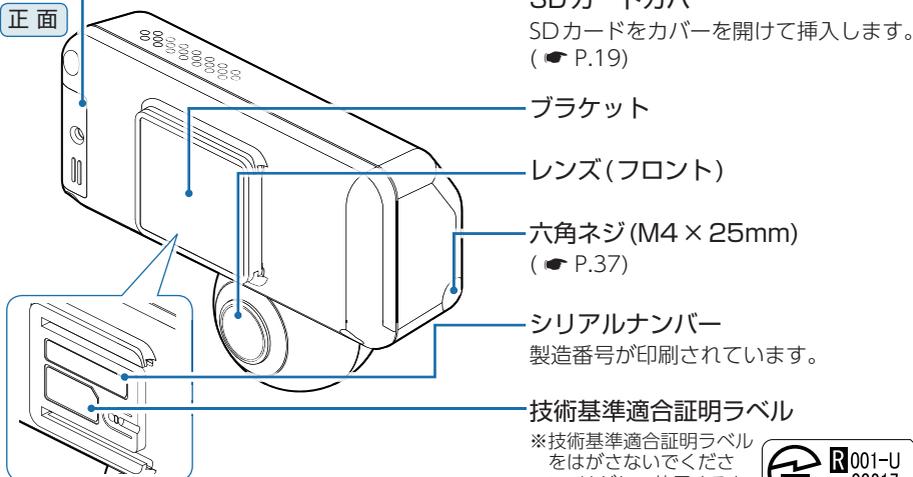


以上でフォーマットは完了です。

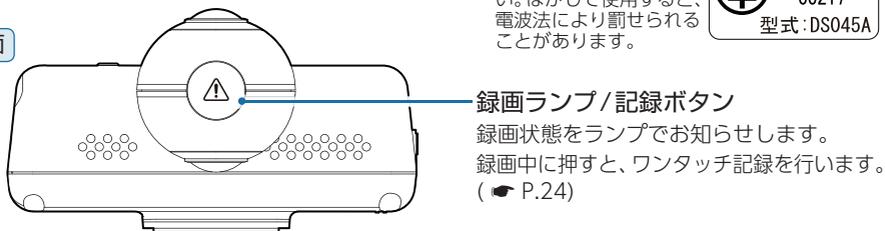
各部の名称と働き

■ 本体

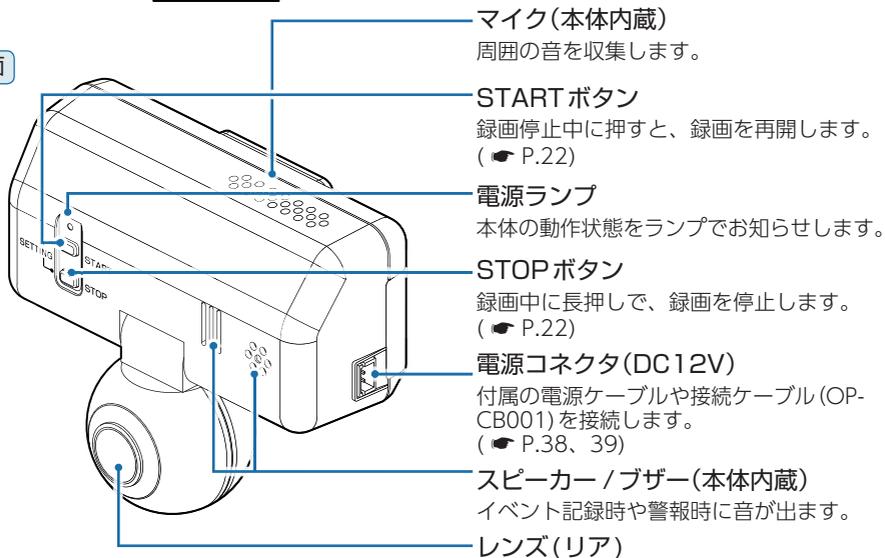
正面



下面



背面



1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- | | |
|---|---|
| ■ ブラケット …………… 1
(本体に装着済み) | ■ 六角レンチ (M4) …………… 1 |
| ■ 両面テープ …………… 1
(ブラケットに使用します。) | ■ 精密サラネジ (M2.6 × 5mm) …… 1
(SDカードカバーに使用します。)(● P.21) |
| ■ 専用SDカード(16GB) …………… 1 | ■ 電源ケーブル(約3.5m) …………… 1 |
| ■ 六角ネジ (M4 × 25mm) …………… 1
(本体に装着済み) | ■ 取扱説明書・保証書(本書) …………… 1 |

- ・本機には、お買い上げの日から1年間の製品保証がついています。ただし、SDカード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
- ・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- ・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

- | | |
|---|--|
| ■ マルチバッテリー OP-MB4000 ^{*1}
(12V車専用) 25,300円
走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、接近監視モード中の録画方法[常時]の対応時間を最大約12時間まで延長できます。
本体…………… 1
入力コード…………… 1
出力コード…………… 1
面ファスナー…………… 1 | ■ 専用SDカード(8GB) ^{*2} OP-SD08
3,300円 |
| ■ 接続ケーブル OP-CB001(約4.9m)
2,750円
本機とマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続します。 | ■ 専用SDカード(16GB) ^{*2} OP-SD16
5,500円 |
| | ■ 専用SDカード(32GB) ^{*2} OP-SD32
11,000円 |
| | ■ 専用SDカード(64GB) ^{*2} OP-SD64
19,800円 |
| | ■ 専用SDカード(128GB) ^{*2} OP-SD128
33,000円 |

※1：別売品の接続ケーブル(OP-CB001)が必要になります。

※2：付属品または別売品の専用SDカード以外は使用しないでください。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用〇〇(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

▼Yupiter スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SDカードの装着 / 取り外し

⚠ 注意

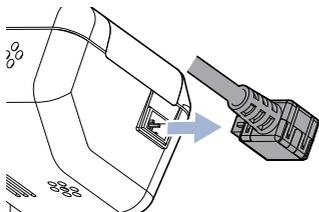
- ・電源ON時にSDカードの抜き差しを行わないでください。SDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ケーブルを取り外し、SDカードの抜き差しを行ってください。
- ・付属品または別売品の専用SDカード以外使用しないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。

1. SDカードを本体へ装着する

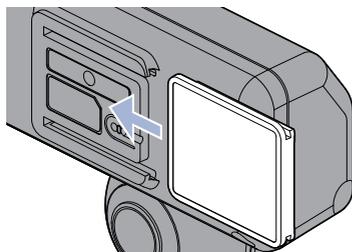
1-1 車両のエンジンをOFFする

※動作トリガによって動作は異なります。(☛ P.51)

1-2 本体の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す

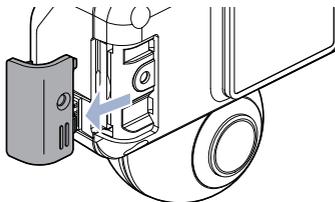


1-3 本体をブラケットから取り外す

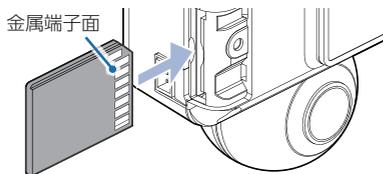


本体をブラケットに押し付けながら矢印の方向へスライドさせてください。

1-4 SDカードカバーを外す

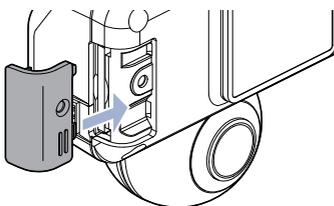


1-5 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

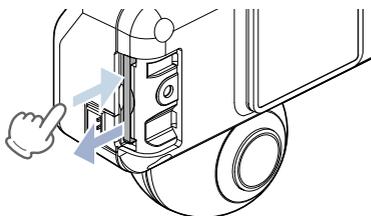
1-6 SDカードカバーを装着する



2. SDカードを本体から取り外す

2-1 P.19手順「1-1 ~ 1-4」を行う

2-2 SDカードを爪などで押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

SDカードカバーにネジを取り付ける

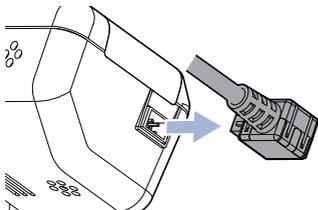
SDカードカバーは、お客様の必要に応じて付属の精密サラネジ(M2.6×5mm)を取り付けることが可能です。

1. ネジを取り付ける

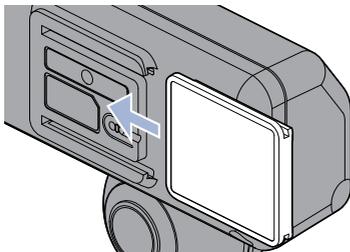
1-1 車両のエンジンをOFFする

※動作トリガによって動作は異なります。(☛ P.51)

1-2 本体の電源コネクタから電源ケーブルを取り外す

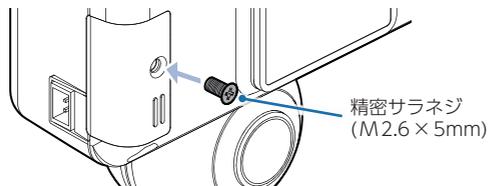


1-3 本体をブラケットから取り外す



本体をブラケットに押し付けながら矢印の方向へスライドさせてください。

1-4 付属の精密サラネジを取り付ける



市販の+(プラス)ドライバーで取り付けてください。

モードについて

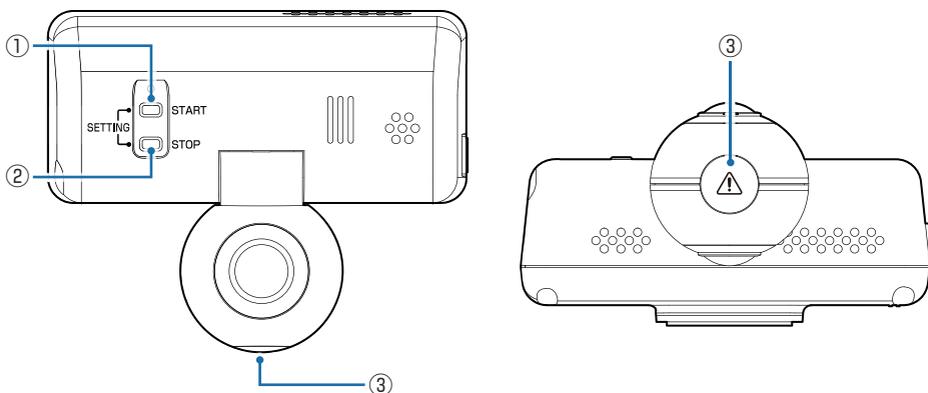
本機には、「DVR(ドライブレコーダー)モード」「接近監視モード」の2つのモードがあります。

1. DVR(ドライブレコーダー)モード

車両のエンジンON(ACC ON)から連続して動画を記録します。

※録画方法については ● P.23を参照ください。

■ DVRモード時のボタンの機能



No.	ボタン	本体の動作
①	START ボタン	録画停止中に押すと、録画を再開します。
②	STOP ボタン	録画中に長押しで、録画を停止します。 録画停止中に長押しで、センサーテストモードへ移行します。(● P.45)
①②	START ボタン / STOP ボタン	録画停止中に同時押しで、Bluetoothペアリングモードへ移行します。(● P.58)
③	記録ボタン	録画中に押すと、ワンタッチ記録を行います。

2. 接近監視モード

車両のエンジンOFF(ACC OFF)後、動作トリガによって駐車監視を行います。(● P.51)

※録画方法については ● P.25を参照ください。

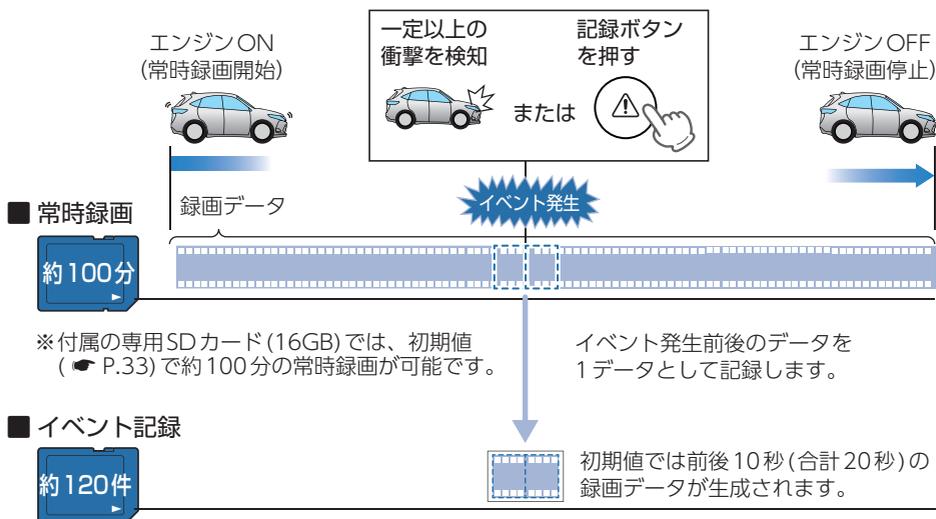
スリープモードについて

接近監視モードを14日間継続すると接近監視モードを自動で停止します。(スリープモード)

録画について (ACC ON時)

車両のエンジンON(ACC ON)時は、DVRモードで記録を行います。録画方法は、常時録画とイベント記録と常時+イベントがあります。

※DVRモードでは、近接近・傾斜・ドア開を検出することはできません。



※付属の専用SDカード(16GB)では、初期値 (● P.33) で約120件のイベント記録が可能です。

- ・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、古い録画データから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(● P.29「上書きモードについて」)
- ・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- ・SDカードが未挿入時や異常時、またはSDカードエラーが起きた場合は、映像を記録することはできません。(● P.111「こんなときは」)

1. 常時録画

エンジン始動(ACC ON)からエンジン停止(ACC OFF)までの映像をSDカードに常時録画します。

・録画可能時間

初期値 (● P.33) で、付属の専用SDカード(16GB)に約100分の常時録画が可能です。SDカードの容量によって録画可能時間は異なります。(● P.117「録画時間の目安」)

・上書きモード

初期値では「上書きモード」が[ON]のため、100分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.29「上書きモードについて」)

2. イベント記録(Gセンサ記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、Gセンサ記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に、「ピー」と音が鳴りイベント記録中は、録画ランプが青点滅になります。

※記録時の音は設定でOFFにすることができます(● P.102)。

※Gセンサ記録、ワンタッチ記録それぞれの記録時間を個別に設定することはできません。

※フレームレート(録画コマ数)を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります(● P.95)。

・録画データ構成

初期値(● P.33)で1ファイルあたり約20秒(イベント発生前後10秒)で生成します。

・最大記録件数

初期値(● P.33)で、付属の専用SDカード(16GB)に約120件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。(● P.118「イベント記録の目安記録件数」)

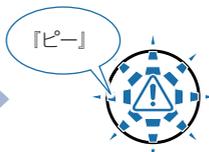
・上書きモード

初期値では「上書きモード」が[ON]のため、記録件数が120件を超えても上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.29「上書きモードについて」)

■ Gセンサ記録

内蔵のGセンサーが一定以上の衝撃を検知した場合には「Gセンサ記録」として前後の映像をSDカードに記録します。

一定以上の衝撃を検知



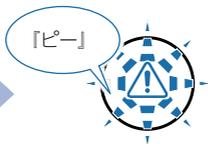
録画ランプ
(青点滅)

※音が鳴り、録画ランプ(青)
が点滅します。

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に記録ボタンを押すと、押した前後の映像を「ワンタッチ記録」としてSDカードに記録します。



録画ランプ
(青点滅)

※音が鳴り、録画ランプ
(青)が点滅します。

⚠ 注意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

録画について (ACC OFF時)

車両のエンジンOFF(ACC OFF)時は、接近監視モードで記録(駐車監視)を行います。録画方法は常時+イベントとイベント記録があり、録画方法によって動作は異なります。

※接近監視モードでは、ワンタッチ記録を行うことはできません

※駐車監視を行う場合は、P.51を参照ください。

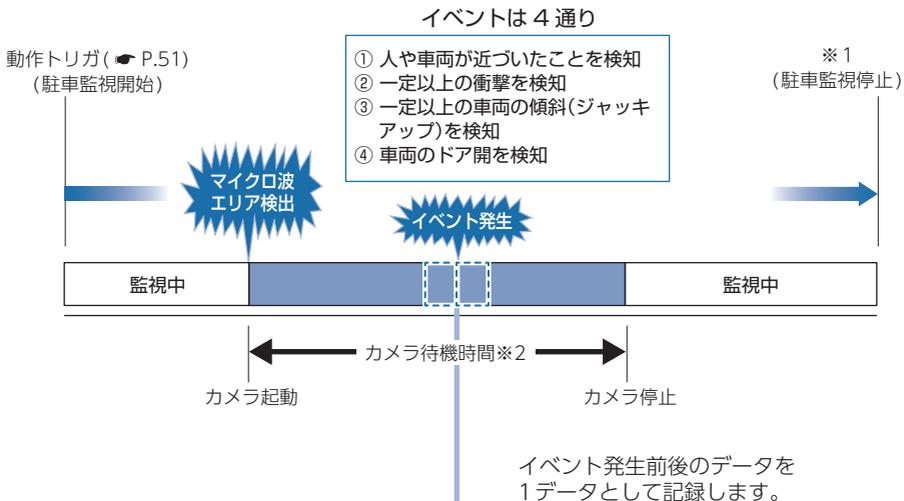
・録画方法について

接近監視モード時の録画動作を設定します。(P.66、95)

イベント記録… エリア検出によりカメラを起動し、各センサー(近接近、衝撃、傾斜、ドア開)が検出するとイベント記録を行います。(初期値)

常時+イベント… 常に記録を行い、各センサー(衝撃、傾斜、ドア開)が検出するとイベント記録を行います。

■録画方法[イベント記録]の場合(初期値)



■ イベント記録

約120件

※3

初期値では前後10秒(合計20秒)の録画データが生成されます。

※付属の専用SDカード(16GB)では、初期値(P.33)で約120件のイベント記録が可能です。

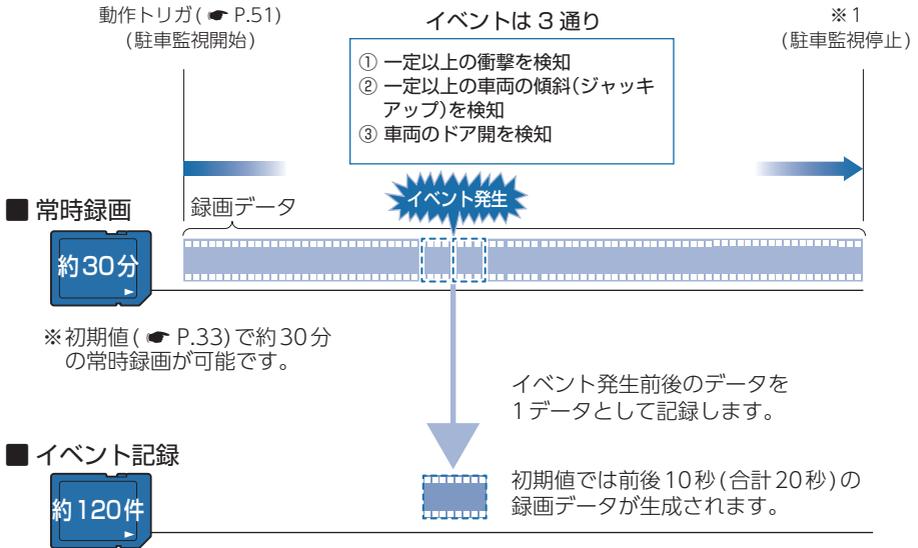
※1: 車両のエンジンON、検出電圧設定以下(初期値: 12.2V)、専用アプリの操作、Bluetoothペアリングしたスマートフォンがエリア感度内に入る(動作トリガ: エリアAUTOの場合)、接近監視モードで14日間以上経過すると駐車監視は停止します。

※2: カメラ待機時間終了直前にイベントが発生した場合は、イベント記録が終了するまで最大4分間の延長を行います。

※3: エリア検出とイベント発生を同時に検出した場合、イベント発生前の10秒は記録されません。また、イベント発生時にカメラを起動するため、イベント記録が開始されるまで数秒かかり、イベント発生時の映像が記録されない場合があります。あらかじめご了承ください。

■録画方法[常時+イベント]の場合

記録時間経過後(初期値：30分)は、録画方法[イベント記録]に自動で切り替わり、駐車監視を継続して行います。(☛ P.25)



※付属の専用SDカード(16GB)では、初期値(☛ P.33)で約120件のイベント記録が可能です。

※1：車両のエンジンON、検出電圧設定以下(初期値：12.2V)、専用アプリの操作、Bluetoothペアリングしたスマートフォンがエリア感度内に入る(動作トリガ：エリアAUTOの場合)、接近監視モードで14日間以上経過すると駐車監視は停止します。

1. 駐車記録

駐車監視時の映像をSDカードに常時録画します。

・録画可能時間

初期値(☛ P.33)で、約30分の駐車記録が可能です。記録時間(マルチバッテリー)の未接続時の設定により録画可能時間は異なります。(☛ P.100)

・上書きモード

[ON]にしている場合は、SDカード容量の上限に達した場合、古い録画データから上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.29「上書きモードについて」)

2. イベント記録(近接近、衝撃、傾斜、ドア開)

録画方法[常時+イベント]の場合、3つのイベント記録(衝撃、傾斜、ドア開)を行います。
録画方法[イベント記録]の場合、エリア検出によりカメラを起動して4つのイベント記録(近接近、衝撃、傾斜、ドア開)を行います。イベント記録中は、録画ランプが青点滅になります。

※イベント記録は記録時間経過後も継続して行います。

※強衝撃、傾斜、ドア開検出時のみ「ピューンピューンピューン…」と警報音が約30秒間鳴ります。警報音を止める場合は、車両のエンジンON、または専用アプリの[停止](● P.63)にタッチしてください。設定で警報音を「OFF」にすることもできます。(● P.67、99)

・録画データ構成

初期値(● P.33)で1ファイルあたり約20秒(イベント発生前後10秒)で生成します。

※録画方法[イベント記録]の場合、エリア検出とイベント発生を同時に検出した場合、イベント発生前の10秒は記録されません。

・最大記録容量

初期値(● P.33)で、付属の専用SDカード(16GB)に約120件のイベント記録が可能です。SDカードの容量によって最大記録件数は異なります。

(● P.118「イベント記録の目安記録件数」)

・上書きモード

Gセンサー記録の動作が反映されます。初期値では「上書きモード」が[ON]のため、記録件数が120件を超えても上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(● P.29「上書きモードについて」)

■ エリア検出

接近監視モード中(録画方法[イベント記録])に、人や車両をエリアセンサーで検出しカメラの起動を行います。

※1(近)～10(遠)、OFFで設定します。初期値は「エリア感度：8」です。(● P.67、99)

人や車両が近づいたことを検知



カメラ起動



録画ランプ
(赤点滅)

※エリアOFF時は動作しません。

■ 近接近

接近監視モード中(録画方法[イベント記録])に人や車両が近づいたことをエリアセンサーで検出し、イベント発生前後の映像をSDカードに記録します。ただし、エリアセンサのOFF時、もしくは、エリア検出とイベントを同時検出の場合は、イベント前の映像は記録されません。

※1(近)～10(遠)で設定します。初期値は「近接近：5」です。(● P.67、97)

※接近監視モード時の近接近の記録を、ON・OFFで設定します。初期値は「近接近記録：ON」です。

人や車両が近づいたことを検知



録画ランプ
(青点滅)

■ 衝撃

接近監視モード中に一定以上の衝撃を検出し、イベント発生前後の映像をSDカードに記録します。ただし、エリアセンサのOFF時、もしくは、エリア検出と同時検出の場合は、イベント後の映像のみSDカードに記録します。

※1(鈍感)～10(敏感)、OFFで設定します。初期値は「弱/強衝撃：5」です。(☛ P.67、99)



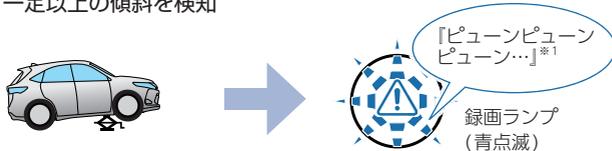
■ 傾斜

接近監視モード中に一定以上の車両の傾斜(ジャッキアップ)を検出し、イベント発生前後の映像をSDカードに記録します。ただし、エリアセンサのOFF時、もしくは、エリア検出と同時検出の場合は、イベント前の映像は記録されません。

※初期値は「傾斜：ON」です。(☛ P.67、99)

※傾斜を検出時の警報音は、設定で「OFF」にすることもできます。(☛ P.67、99)

一定以上の傾斜を検知



■ ドア開

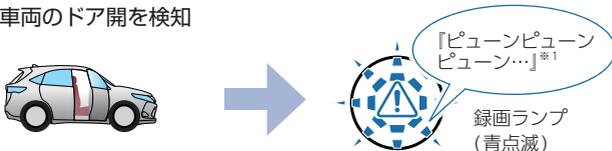
接近監視モード中に車両のドア開を検出し、イベント発生前後の映像をSDカードに記録します。ただし、エリアセンサのOFF時、もしくは、エリア検出と同時検出の場合は、イベント前の映像は記録されません。

※ドア開を検出してから警報するまでの時間を設定できます。初期値は「ドア開警報ディレイ：5秒」です

※初期値は「ドア開：ON」です。(☛ P.67、99)

※ドア開を検出時の警報音は、設定で「OFF」にすることもできます。(☛ P.67、99)

車両のドア開を検知



※1：警報音は約30秒間鳴ります。

ファイル容量の目安について

本機は、記録方法によってSDカードのファイル容量の上限がそれぞれ決められています。

※上限を超える場合の動作は、「上書きモードについて」を参照ください。

SDカードの全容量

常時録画 70%	イベント記録 30%
-------------	---------------

上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(● P.66、95)

上書きモードは、DVRモード(●P.22)と接近監視モード(●P.22)どちらにも同じ設定が反映されます。

上書きモード	上限に達した場合の動作	
	ONの場合(初期値)	OFFの場合
常時録画	古い常時録画ファイルから上書きします。	上書きしません。
イベント記録	古いイベント記録データから上書きします。	上書きしません。
履歴記録	古い履歴記録データから上書きします。	上書きしません。

※近接近・衝撃・傾斜・ドア開は、上書きモード「イベント記録」の動作が反映されます。

上書きモードを全て[OFF]にした場合…

上書きモードを[OFF]にすると、各録画方法のデータ容量が上限に達した場合、「ピーピーピー」と4回音が鳴り、その録画方法での録画を停止します。

マルチトリガーについて

本機では、イベント記録中に新たな衝撃が加わった場合、2回目以降の衝撃も1つのファイルとして連続で記録します。

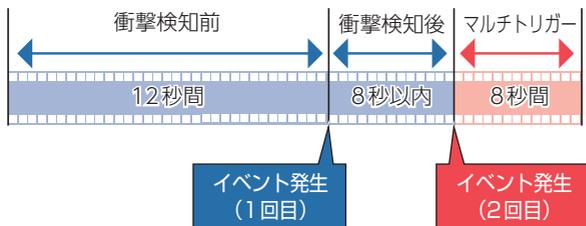
※マルチトリガー検知後は、設定されている時間(衝撃検知後の時間)記録します。

※イベント記録の1ファイルの最大秒数は、60秒になります。

※イベント記録時間の設定が60秒(30,30)の場合は、マルチトリガーは行いません。

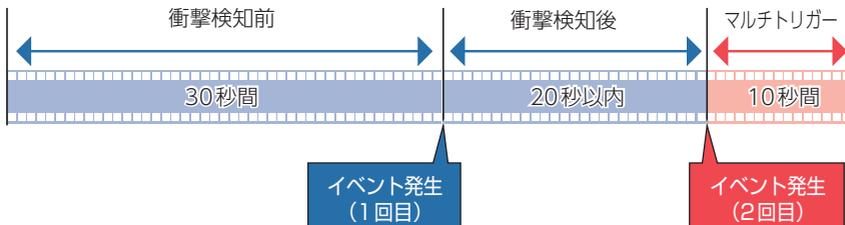
■ 例1：イベント記録時間の設定が12秒 / 8秒の場合

2回目のイベント発生後、さらに8秒間イベント記録を続けます。



■ 例2：イベント記録時間の設定が30秒 / 20秒の場合

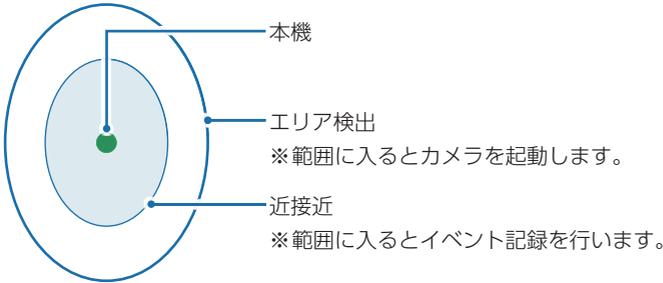
1ファイルのイベント記録の最大秒数が60秒のため2回目のイベント後、さらに10秒間イベント記録を続けます。



エリアセンサー（マイクロ波）の設定について

本機は、「エリア検出」の範囲で、エリアセンサーの検出範囲を設定します。また、「近接近」の範囲は、エリア検出をもとに設定します。（☛ P.67、99）

■ エリア検出「10」、近接近「10」に設定した場合



<イメージ図>

GPS 機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、現在地の緯度・経度を測定するシステムです。カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、走行履歴の保存ができます。

※走行履歴の記録時間は、「履歴記録時間」で変更できます。（☛ P.94）

1. GPSを測位する

1-1 車両のエンジンをONする

本体が電源ONすると、GPS測位機能が働きます。

※通常、GPS測位が完了するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後やピルの谷間など、視界の悪い場所では、20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

TVによるGPS測位障害について

車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■数ヶ月に一度のメンテナンス



注意

必ず数ヶ月に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。(P.14)

■必要に応じてメンテナンス

・付属の電源ケーブルのヒューズ交換

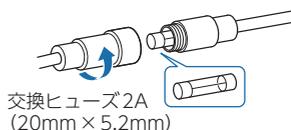
※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



交換ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

・別売品のヒューズ交換

※マルチバッテリー(OP-MB4000)：交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)

※接続ケーブル(OP-CB001)：交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

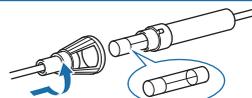
接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

<OP-MB4000>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。

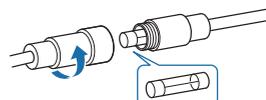


OP-MB4000：交換ヒューズ6A
(30mm×6.0mm)

<OP-CB001>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



OP-CB001：交換ヒューズ2A
(20mm×5.2mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目		初期値	説明
録画方法	常時+イベント		DVRモード時、常時録画とイベント記録を行います。
	イベント記録		接近監視モード時、イベント記録のみ行います。
解像度	高 (2560 × 1080)		2560 × 1080の解像度で記録します。
録画コマ数	30コマ/秒		1秒あたり30コマで記録します。
イベント記録時間	10,10[20秒]		イベント発生前後10秒(合計20秒)で記録します。
音声記録	ON		映像と一緒に録音します。
履歴記録時間	24時間		24時間分の履歴(ログデータ)を記録します。
履歴記録コマ数	1コマ/秒		1秒あたり1コマで履歴を記録します。
上書きモード	常時録画	ON	SDカード容量がいっぱいになると古い録画データから上書きして録画を続けます。
	イベント記録		
	履歴記録		
Gセンサー記録	有効		DVRモードで一定以上の衝撃を検知すると、Gセンサー記録を行います。
感度	5		Gセンサー記録の衝撃感度を「5」に設定しています。
動作トリガ	マニュアル		車両のエンジンOFF後、STARTボタンを押すことで接近監視モードへ移行します。 ※ エンジンOFF後、無操作の場合は接近監視モードには移行しません。
近接近記録	ON		接近監視モード時、近接近記録をします。
移行時間	3分後		動作トリガから接近監視モードへ移行する時間を3分後に設定しています。
カメラ待機時間	1分間		エリア検出によりカメラを起動してから停止するまでの時間を1分間に設定しています。
ドア開警報ディレイ	5秒		ドア開を検出してから警報するまでの時間を5秒に設定しています。
検出電圧	12.2V		接近監視モード時に、車両のバッテリーが12.2V以下になると、駐車監視を停止します。
警報音	ON		接近監視モード時に警報音を鳴らします。
傾斜	ON		接近監視モード時に傾斜を検出します。
ドア開	ON		接近監視モード時にドア開を検出します。
マイクロ波センサ AUTO感度	OFF		設定した感度で検出します。

設定項目	初期値	説明
エリア感度	8	人や車両を検出してカメラを起動する感度(エリア感度)を「8」に設定しています。
近接近	5	人や車両が近づいたことを検出する感度を「5」に設定しています。
弱衝撃	5	弱衝撃の感度を「5」に設定しています。
強衝撃	5	強衝撃の感度を「5」に設定しています。
未接続時 ^{※1}	30分	駐車監視モード時、車両のバッテリーから電源を供給する時間を30分に設定しています。
接続時	使用しない	別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続して駐車監視を行う場合に使用します。
ビーブ音	ON	イベント記録(ワンタッチ記録とGセンサー記録)時に音が鳴ります。

※1：未接続時の設定は、録画方法[常時+イベント]にのみ反映されます。設定時間後は、録画方法[イベント記録]に自動で切り替わり、接近監視モードを継続して行います。

※初期値を変更する場合は、専用アプリ(● P.66)、または専用ソフト(● P.94)で変更してください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

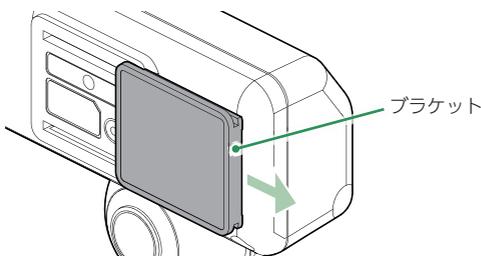
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源ケーブルなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
- ・他のマイクロ波を使用する機器との併用はできません。
- ・電源ONする前には必ず六角ネジが緩んでいないか、レンズ位置はズれていないかを確認してください。



1. 本機を取り付ける

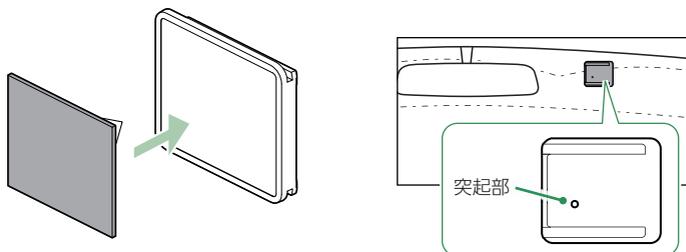
あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットを本体から取り外す



ブラケットを本体に押し付けながら矢印の方向にスライドさせてください。

1-2 ブラケットに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



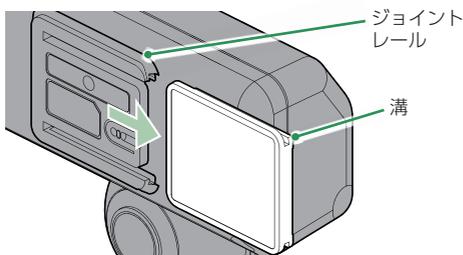
ブラケットの突起部が正面から見て左下になるように貼り付けてください。

※本体を装着した時に電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかりと貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

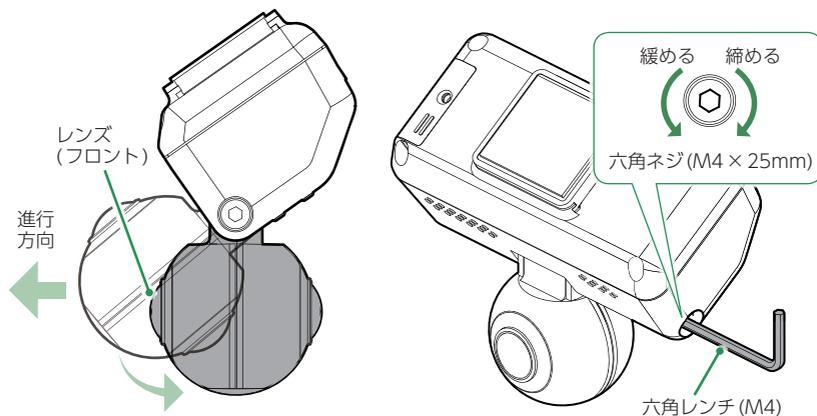
1-3 ブラケットに本体を装着する



ブラケットの溝と本体のジョイントレールを合わせ、矢印の方向にスライドさせてください。

※奥までスライドさせ、軽く引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下する恐れがあります。

1-4 レンズ(フロント)を進行方向の撮影したい方向に向け、固定する



レンズ位置調整後は付属の六角レンチを使用して、位置がズレないようにレンズ部を押さえながら六角ネジを締めてください。

※六角ネジを締めた後はレンズの向きを調整しないでください。レンズ部に無理な力が加わり、破損することがあります。六角ネジを緩めてから調整してください。

※六角ネジは取り外さないでください。

2. 電源を接続する

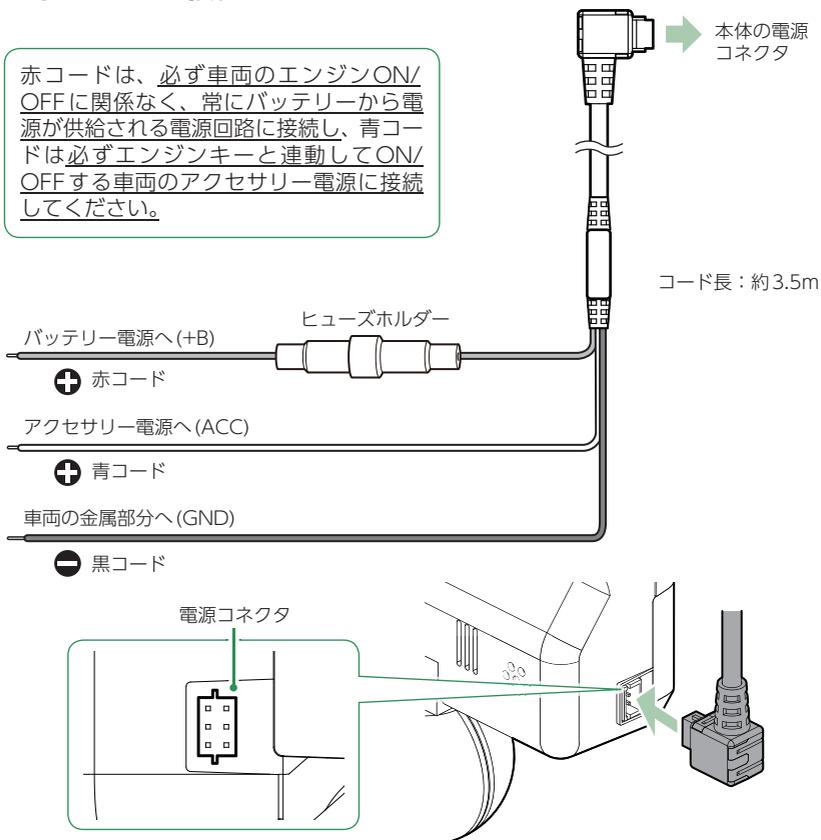
別売品の接続方法は (P.39) を参照ください。

⚠ 注意

- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

2-1 電源ケーブルを接続する

赤コードは、必ず車両のエンジンON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、青コードは必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。



付属の電源ケーブルを本体の電源コネクタと車両へ接続します。

※付属の電源ケーブルをご使用ください。

※電源ケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

※仮付けのため、ケーブルは固定しないでください。

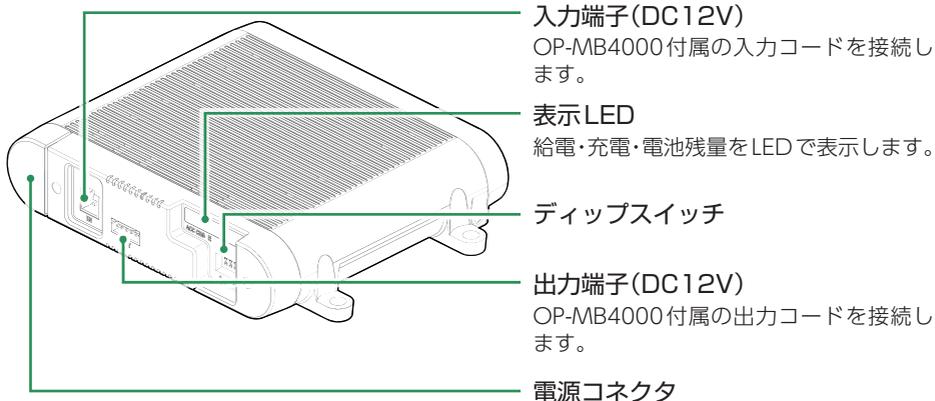
別売品の取り付け

⚠ 注意

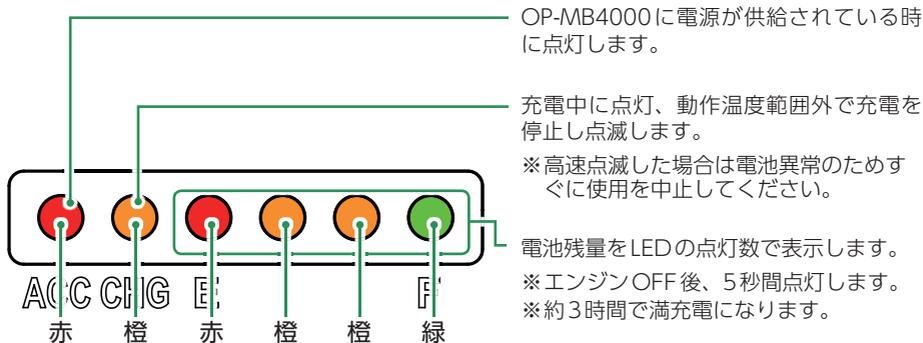
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示LEDについて



⚠ 注意

- OP-MB4000 を3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード ③ 接続ケーブル(OP-CB001)

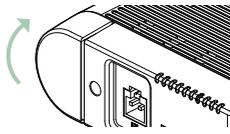
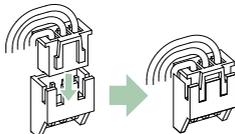
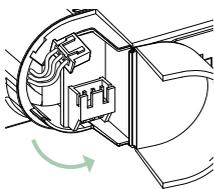
※ 付属の出力ケーブルは使用しません。

1-1 記録時間(マルチバッテリー)の設定をする

本機は専用アプリ(● P.67)または、専用ソフト(● P.100)でマルチバッテリーの設定ができます。マルチバッテリーのみで設定する場合は、マルチバッテリーの取扱説明書をご確認の上、設定してください。

1-2 電源コネクタを接続する

① カバーを開ける ② 電源コネクタを接続する ③ カバーを閉じる

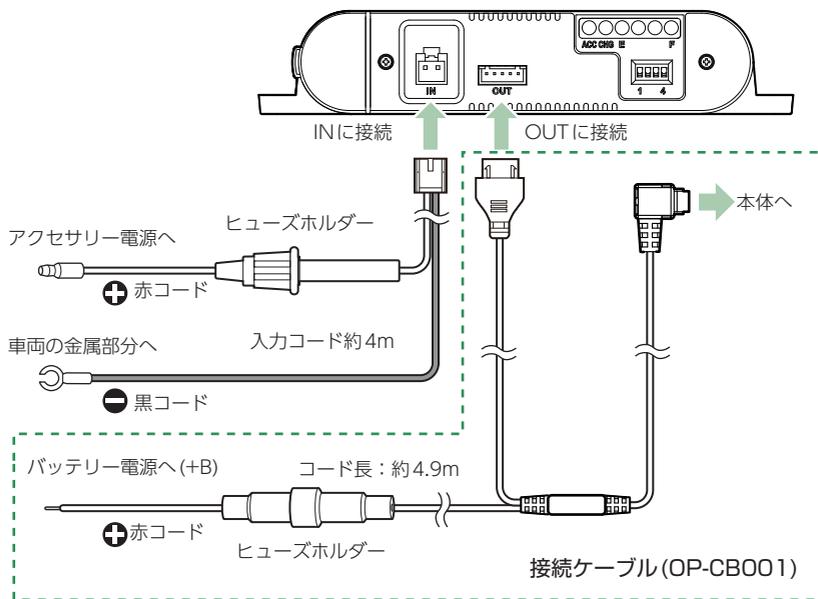


※ 奥まで確実に差し込んでください。

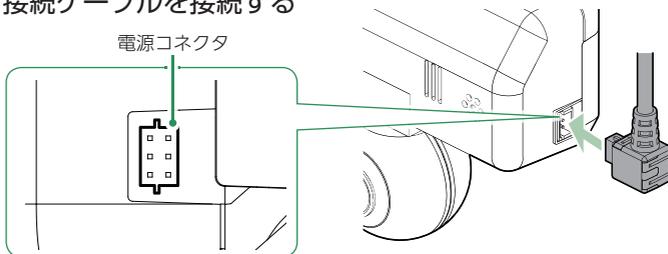
※ 「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

1-3 OP-MB4000 を車両に接続する

- ・ 入力コードの赤コードは、必ずエンジンキーと連動してON/OFFする車両のアクセサリ電源に接続してください。
- ・ 接続ケーブル(OP-CB001)の赤コードは、必ず車両のエンジンON/OFFに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。



1-4 接続ケーブルを接続する



別売品の接続ケーブル (OP-CB001) を本体の電源コネクタへ接続します。

※接続ケーブルのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

※記録時間 (マルチバッテリー) の設定に関係なく、マルチバッテリー内蔵電池が少なくなった場合には内蔵電池からの電源供給を自動的に停止します。停止後は、車両のバッテリーから電源供給を行い、録画方法 [イベント記録] で駐車監視を継続して行います。

専用ソフトでの準備

本機で録画した映像は、パソコンに専用ソフトをインストールすることにより、Google Mapsと連動させて表示することができます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

OS : Microsoft Windows 10、8、7

CPU: Core i5相当、3.0GHz以上

メモリ : 8GB以上

DirectX9.0c以降のバージョン

(2021年4月現在)

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。

※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。

本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。

※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

※お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

※CPUやメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。

※専用ソフトの画面サイズは1024 × 768ピクセル固定です。

※コントロールパネル内のディスプレイの設定が「100%」になっていないと起動することができません。

※本機の記録解像度は、最大約280万画素ですが専用ソフトで表示する場合は、画像処理で減少します。

1. 専用ソフトをインストールする

弊社ホームページより専用ソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

※インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。<https://www.yupiteru.co.jp/>

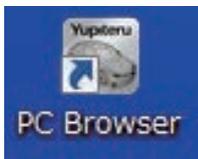
※誤って専用ソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ソフトをダウンロードしてください。

※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 設置角度検出をする

本機を初めて取り付けた時や、設置場所を変更した場合は、設置角度検出を行ってください。

2-1 [PC Browser]アイコンをクリックする



専用ソフトが起動しない場合

「DirectXの初期化に失敗しました」、「d3d9.dllがありません」、「xxx.dllが見つからなかった・・・」といったエラーに対処するには「DirectX Runtime」のアップデートが必要になります。
「DirectX エンドユーザーランタイム」で検索しダウンロードおよびインストールを行ってください。

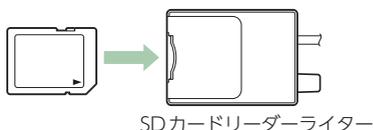
専用ソフトが起動します。

※専用ソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

2-2 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



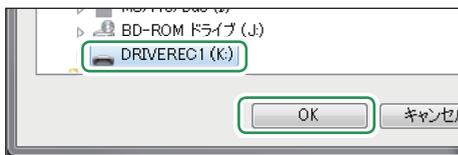
2-3 付属の専用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



2-4 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



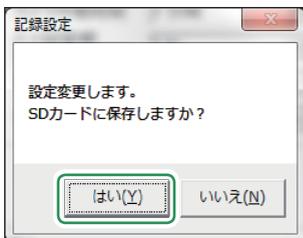
2-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



2-6 [設置角度検出を実行]に を入れ、[SDカード保存]をクリックする



2-7 [はい]をクリックし、パソコンから付属の専用SDカードを取り出す



2-8 本体に設定済みのSDカードを挿入し、車両のエンジンをONする

録画ランプ(紫)



録画ランプ(赤)



録画ランプ(青)



- ・SDカードの挿入方法は…
▶ P.19「SDカードの装着 / 取り外し」

設置角度検出を自動で行います。録画ランプが青になれば完了です。

※設置角度検出中は車両を移動させないでください。

※平らな場所で設置角度検出を行ってください。

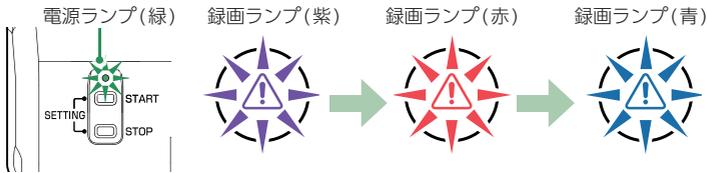
動作確認

設置角度検出後、手順に沿って動作確認を行ってください。

1. センサーテストをする

マイクロ波センサー、衝撃センサーの検出確認してください。

1-1 車両のエンジンをONする



録画を開始します。

電源ランプ(緑)が点灯、録画ランプが紫→赤→青となり録画を開始します。

録画開始までの時間について

本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。
録画ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

1-2 STOPボタンを長押しする



『ピー』と鳴り録画を停止します。

電源ランプ(緑)が早点滅、録画ランプ(赤)が遅点滅になります。

1-3 STOPボタンを長押しする



センサーテストへ移行します。

電源ランプ(橙)が点灯になります。

※センサーモードを終了する場合は、STARTボタンを押してください。

マイクロ波センサーテスト

1-4 車両のエンジンをOFFする

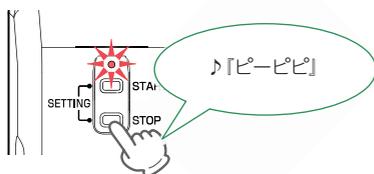


- ・マイクロ波センサーテスト
エリア検出した場合：『ピピッ』
近接近検出した場合：『キュイン』

『ピー』と鳴りマイクロ波センサーテストを開始します。
電源ランプ(赤)が点灯になります。
※開始から20秒間は反応しません。

衝撃センサーテスト

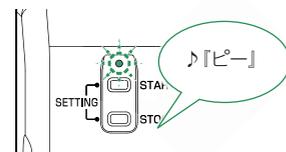
1-5 マイクロ波センサーテスト確認後、STOPボタンを押す



- ・衝撃センサーテスト
弱衝撃を検出した場合：『キュン』
強衝撃を検出した場合：『キュン・キュン』

『ピーピピ』と鳴り衝撃センサーテストを開始します。
※衝撃センサーテスト中にSTOPボタンを押すとマイクロ波センサーテストへ移行します。

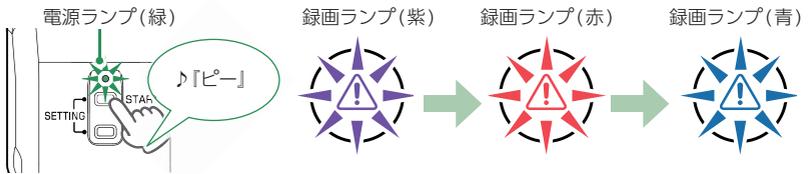
1-6 衝撃センサーテスト確認後、車両のエンジンをONする



『ピー』と鳴りセンサーテストを終了し、録画停止状態へ移行します。

テスト記録をする

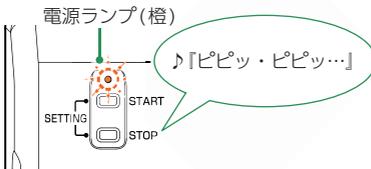
1-7 START ボタンを押す



録画を再開します。

電源ランプ(緑)が点灯、録画ランプが紫→赤→青となり録画を再開します。
数分、常時録画を行ってください。

1-8 車両のエンジンをOFFする



『ピピッ・ピピッ…』と鳴ります。

- ※初期値(動作トリガ：マニュアル)での場合。
- ※OFF後、約10秒間無操作で電源OFFします。

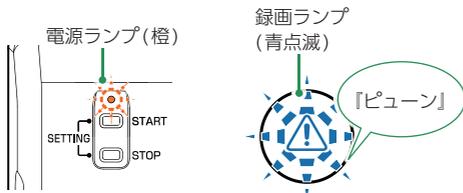
1-9 『ピピッ・ピピッ…』と鳴っている間にSTART ボタンを押す



『ピロピロピロ』と鳴り電源ランプ(赤)が早点滅になります。
約10秒後に『キューイン』と鳴り接近監視モードへ移行します。

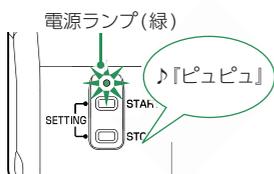
- ※初期値(移行時間：3分後)では、3分後に接近監視モードを開始します。

1-10 イベントを発生させる



車両を揺らすなどしてイベントを発生させてください。(☞ P.27)
イベント記録中は録画ランプが青点滅(早)します。

1-11 イベント終了後、車両のエンジンをONする



接近監視モードを終了します。
『ピュピュ』と鳴り接近監視モード中イベントがあったことをお知らせします。
※イベント記録がなかった場合は、お知らせは行いません。

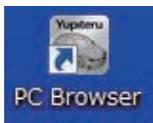
1-12 車両のエンジンをOFFし、約10秒間操作しない

電源がOFFになります。
※初期値(動作トリガ：マニュアル)での場合。

2. テスト記録の確認

2-1 本体からSDカードを取り外す (☞ P.19)

2-2 [PC Browser]アイコンをクリックする



専用ソフトが起動します。

2-3 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



2-4 付属の専用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する

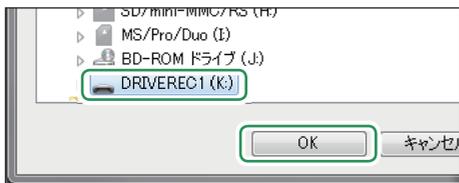


※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

2-5  をクリックする

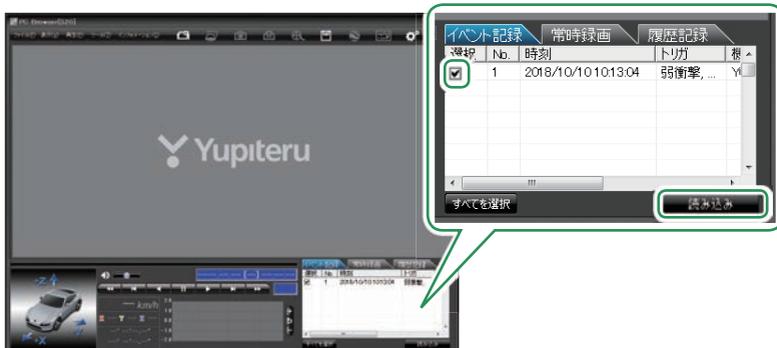


2-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※ メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

2-7 見たい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

2-8 (再生)をクリックする



録画データを再生します。

ボタン操作の詳細は P.77 を参照ください。

※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。

テスト記録を確認したら…

テスト記録に問題が無ければ、記録設定 (P.95) をお好みの設定に変更して、SDカードを本体に戻してご使用を開始してください。問題がある場合は、取り付けや設定を確認して再度動作テストを実行してください。

駐車監視について

車両のエンジンOFF(ACC OFF)後、動作トリガによって接近監視モードへ移行し、駐車監視を開始します。

動作トリガには、手動で移行する「マニュアル」、自動で移行する「ACC OFF連動」、Bluetoothペアリングを行ったスマートフォンがエリア外になったときに移行する「エリアAUTO」があります。

※Bluetoothペアリングすることで、接近監視モード時の操作を行うことができます。(● P.61)

※専用アプリ(● P.66)または、専用ソフト(● P.94)で動作や記録時間を変更できます。

⚠ 注意

- ・強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、窓ガラスやボディへの衝撃を検知してイベント記録する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や雷などの騒音が発生している場所では、本機のセンサーが動き、イベント記録することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。
- ・車両の窓ガラスにフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、エリアセンサーで検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。
- ・窓ガラスに雪が積もっていると、エリアセンサーで検知できにくい場合やできないことがあります。
- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- ・整備や車検などで車両を第三者に預ける場合は、車両のエンジンOFF後、動作トリガによって駐車監視が行われる旨をお伝えください。

1. 動作トリガ[マニュアル]の場合(初期値)

1-1 車両のエンジンをOFFする



『ピピッ・ピピッ...』と鳴ります。

※OFF後、約10秒間無操作で接近監視モードに移行せず、駐車監視をしません。

1-2 『ピピッ・ピピッ...』と鳴っている間にSTARTボタンを押す



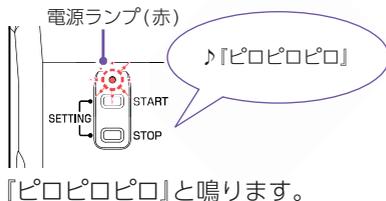
『ピロピロピロ』と鳴り電源ランプ(赤)が早点滅になります。

約10秒後に『キューイン』と鳴り接近監視モードへ移行します。

※初期値(移行時間:3分後)で、3分後に駐車監視を開始します。

2. 動作トリガ[ACC OFF連動]の場合

2-1 車両のエンジンをOFFする



2-2 約10秒間操作をしない

『キューイン』と鳴り接近監視モードへ移行します。

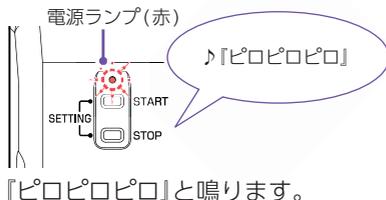
※初期値(移行時間:3分後)で、3分後に駐車監視を開始します。

3. 動作トリガ[エリアAUTO]の場合

※Bluetoothペアリングした状態(▶ P.58)で行ってください。Bluetoothペアリングできていない場合、[ACC OFF連動]の動作になります。

※バックグラウンドで専用アプリが動作している場合、動作トリガ[エリアAUTO]が正常に動作できないことがあります。その際は、スマートフォンに専用アプリの画面を表示してください。

3-1 車両のエンジンをOFFする



3-2 Bluetoothペアリングしたスマートフォンを持って本機から離れる

エリア感度外になると、接近監視モードで駐車監視を開始します。

※Bluetoothペアリングしたスマートフォンがエリア感度内に入ると本体から『キューイン キューイン』となり、駐車監視を停止します。

※[エリアAUTO]のエリア感度の設定は、▶ P.64を参照ください。

Bluetoothペアリングした状態で駐車監視中にイベント記録が発生した場合、駐車監視停止時や専用アプリ起動時などにスマートフォンからアラームが鳴りイベント記録が発生したことをお知らせします。

※発生件数は操作画面の「イベント記録履歴件数」でご確認ください。(● P.61)

※DVRモードで録画の開始/停止時にも、スマートフォンからアラームが鳴り、お知らせします。

4. 駐車監視を停止する

※専用アプリから駐車監視を停止することもできます。(● P.63)

4-1 車両のエンジンをONする

『キュイン キュイン』と鳴り、駐車監視を停止します。

※接近監視モードへ移行している間に電源ONした場合は、音は鳴りません。ただしスマートフォンアプリから接近監視モードを停止した際は、音でお知らせします。

※録画停止から数秒でDVRモードで録画を開始します。

ドア開の設定を「ON」に設定している場合、車両に乗り込む際に警報音が約30秒間鳴ります。警報音を鳴らしたくない場合は、警報音の設定を「OFF」(● P.67、99)、または、専用アプリの[停止](● P.63)にタッチして駐車監視を停止してください。もしくは、ドア開を検出してから警報音になるまでの時間を「ドア開警報ディレイ」にて設定できます。

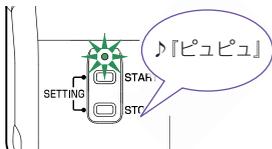
※動作トリガ[エリアAUTO]の場合、Bluetoothペアリングしたスマートフォンがエリア感度内に入ると駐車監視を停止するため、車両に乗り込む際に警報音は鳴りません。

接近監視モード履歴について

接近監視モード中にイベント(警報)が発生した場合、車両のエンジンON時に『ピュピュ』と鳴りお知らせします。

※車両に乗り込む際などの車両エンジンON時のイベント記録は、お知らせしません。

※近接近のみのイベント記録はお知らせしません。



キャンセルエリアについて

車両のエンジンOFF時に接近監視モードへ移行しないエリア（キャンセルエリア）、一時的に接近監視モードへ移行しないエリア（一時キャンセルエリア）を登録することができます。

※キャンセルエリアは、動作トリガ[マニュアル]では動作しません。動作トリガを[ACC OFF連動]または、[エリアAUTO]に変更してから行ってください。(P.67、98)

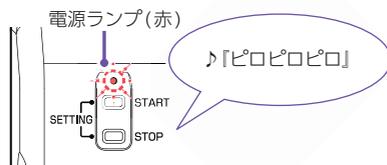
キャンセルエリア(特許出願中)

駐車監視が必要でないエリアを登録することができます。登録後、登録した場所(半径50メートル)では駐車監視を行いません。

※最大200件登録可能です。

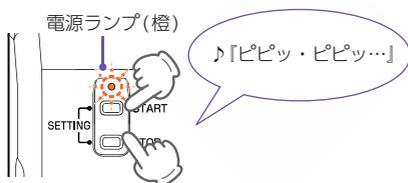
1. キャンセルエリアの登録

1-1 車両のエンジンをOFFする



『ピロピロピロ』と鳴ります。

1-2 『ピロピロピロ』と鳴ってから10秒以内にSTARTボタンとSTOPボタンを同時に押す



キャンセルエリアに登録します。キャンセルエリア登録後は『ピピッ・ピピッ...』と鳴り電源ランプは橙点滅になります。

2. キャンセルエリア内の解除

2-1 車両のエンジンをOFFする



2-2 『ピピッ・ピピッ…』と鳴っている間にSTARTボタンとSTOPボタンを同時に押す



キャンセルエリアを解除します。キャンセルエリア解除後は『ピロピロピロ』と鳴り電源ランプは赤点滅になります。

■ 一時監視エリアについて

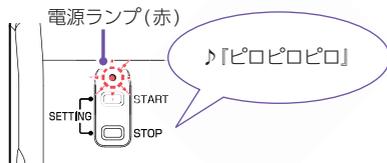
キャンセルエリア内で一時的に接近監視モードに移行したい場合は、『ピピッ・ピピッ…』と鳴っている間にSTARTボタンを押してください。接近監視モードになった場合は、『ピーピロピロピロ』と音が鳴ります。

一時監視エリアは、次回電源ON時に自動で解除されます。

3. 一時キャンセルエリアの登録

一時キャンセルエリアは次回電源ON時に自動で解除されます。一時的にキャンセルエリアに登録したい場合にご使用ください。

3-1 車両のエンジンをOFFする



『ピロピロピロ』と鳴ります。

3-2 『ピロピロピロ』と鳴ってから10秒以内にSTOPボタンを押す



一時キャンセルエリアに登録します。一時キャンセルエリア登録後は『ピピピッ・ピピピッ...』と鳴り電源ランプは橙点滅になります。

■ 一時キャンセルエリアの解除について

一時キャンセルエリアを解除する場合は、『ピピピッ・ピピピッ...』と鳴っている間にSTARTボタンを押してください。

専用アプリについて

専用アプリ[S20 Remote]を使用し、スマートフォンと本機をBluetoothペアリングすることにより、スマートフォンから各種設定を行うことができます。

※GPS非搭載の端末ではインストールできません。あらかじめご了承ください。

※アプリを正常にインストールできたとしても、ご使用の端末状態や通信状況などによっては、ご利用いただけない場合があります。

※以下の仕様を満たしたスマートフォン等で専用アプリを使用することができます。

iOS：10、11、12、13

Android：5、6、7、8、9、10 (Google Play 対応)

(2020年3月現在)

1. 専用アプリをインストールする

専用アプリ[S20 Remote]をスマートフォンにインストールします。

下記の「QRコード」または「URL」から専用アプリ[S20 Remote]をインストールします。対応機種などは弊社ホームページをご覧ください。(https://www.yupiteru.co.jp/)

<https://www.yupiteru.co.jp/app/S20/>



Bluetoothペアリング

スマートフォンと本機をBluetoothペアリングすることにより、接近監視モード時の録画操作、設定などを行うことができます。

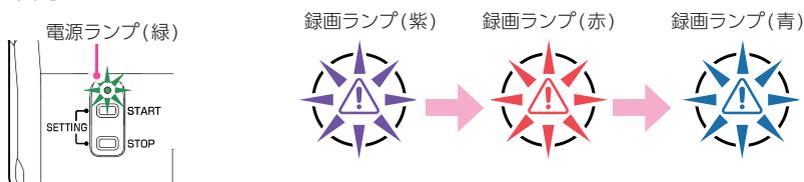
※一度、Bluetoothペアリングを行った場合、二回目以降は自動で接続されるため、Bluetoothペアリングの必要はありません。

※本機とBluetoothペアリングできる機器はスマートフォン1台です。

※Bluetoothペアリングできない場合は、P.112「Bluetoothペアリングできない」を参照ください。

1. Bluetoothのペアリングを開始する

1-1 車両のエンジンをONする



録画を再開します。

電源ランプ(緑)が点灯、録画ランプが紫→赤→青となり録画を再開します。

1-2 STOPボタンを長押しする



『ピー』と鳴り録画を停止します。

電源ランプ(緑)が早点滅、録画ランプ(赤)が遅点滅になります。

1-3 STARTボタンとSTOPボタンを同時に長押しする

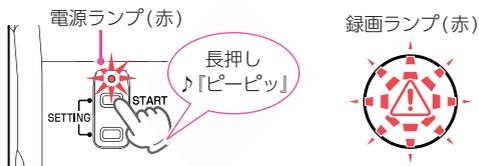


『ピピッ・ピピッ…』と鳴ります。

電源ランプ(赤)が点灯になります

※STOPボタンを押すとペアリングを中止し、録画停止状態へ移行します。

1-4 START ボタンを長押しする



『ピーピー』と鳴りBluetoothペアリングを開始します。電源ランプが赤点灯、録画ランプが赤点滅している間に、手順「1-5～1-8」を行ってください。

1-5 お使いのスマートフォンのBluetoothをONにする

スマートフォンの取扱説明書に沿ってBluetoothをONしてください。

1-6 アプリ「S20 Remote」を起動する



1-7 [再接続]にタッチする



※一度でもBluetoothペアリングを行った場合は、[再接続]が表示されません。接続情報を削除してから行ってください。(● P.112「接続情報を削除してから再度、Bluetoothペアリングを行ってください。」)

1-8 [ペアリング]にタッチする



※Androidではこの画面はできません。



本機のBluetoothは「S20 BLE_」から始まるデバイス名で表示されます。Bluetoothペアリングが成功すると本機から『ピピッ』と鳴り、スマートフォンから『ピコピコ・ピコピコ』と鳴り操作画面を表示します。(Androidではこの音はなりません。)

※Bluetoothペアリングに失敗した場合は、本機から『ブブー』と鳴ります。再度、接続を行ってください。

操作画面

本機とスマートフォンをBluetoothペアリングすると、接近監視モード時にスマートフォンから本機の動作状態の表示や操作を行うことができます。また、手動で駐車監視を開始することができます。

※Bluetoothペアリング方法は P.58 を参照ください。

※接近監視モード以外では、動作状態は「-----」と表示されます。



No.	表示名	説明	
①	動作状態	マニュアル	動作トリガを表示します。
		ACC OFF 連動	
		エリア AUTO	
		録画中	録画方法 [常時] で録画中に表示します。
		イベント監視中	録画方法 [イベント記録] で録画中に表示します。
		監視待ち	接近監視モードへ移行中に表示します。
		停止中	停止中に表示します。
		キャンセル エリア	キャンセルエリア内にいる場合に表示します。 ※表示中は駐車監視を行うことはできません。
イベント記録 NG	イベント記録がSDカード容量の上限に達した場合に表示します。 ※表示中はイベント記録を行うことはできません。		

No.	表示名	説明												
②	電池残容量	別売品のマルチバッテリーから電源供給を行っている場合は、マルチバッテリーの電池残容量を表示します。												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>電池残容量</th> <th>アイコン</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>80～100%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～79%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40～59%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20～39%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0～19%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	電池残容量	アイコン	80～100%		60～79%		40～59%		20～39%		0～19%	
		電池残容量	アイコン											
		80～100%												
		60～79%												
		40～59%												
20～39%														
0～19%														
③	車両バッテリー電圧	車両のバッテリー電圧を表示します。												
④	エリア感度レベル ^{※1}	[エリアAUTO]のエリア感度を表示します。												
⑤	イベント記録履歴件数	接近監視モード時のイベント記録の件数を表示します。												
⑥	常時(常時+イベント)	録画方法を切り替えます。(●「録画方法を変更する」)												
	イベントのみ(イベント記録)	駐車監視を手動で開始します。(● P.63「駐車監視を手動で開始する」)												
⑦	エリア感度設定 ^{※1}	[エリアAUTO]のエリア感度の設定ができます。(● P.64)												
⑧	バージョン情報	本アプリのバージョンを表示します。												
⑨	設定	本機の設定を変更できます。(● P.66)												
⑩	停止	駐車監視を停止します。												

※1:動作トリガ[エリアAUTO]設定時のみ表示されます。

1. 録画方法を変更する

例：駐車監視中に録画方法を[イベントのみ]から[常時]に変更する場合

※変更は今回のみ反映されます。次回、駐車監視時には録画方法の設定(● P.67、P.98)で設定された録画方法で駐車監視を行います。

1-1 [常時]にタッチする



1-2 OKにタッチする



録画方法[常時]に切り替わり、駐車監視を開始します。

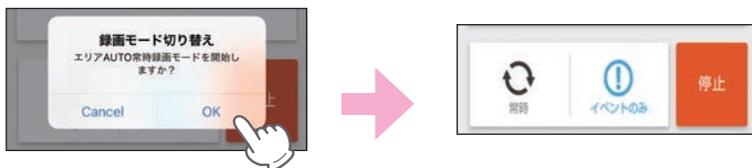
2. 駐車監視を手動で開始する

例：駐車時に録画方法[イベント記録]で駐車監視を行う場合

2-1 [イベントのみ]にタッチする



2-2 OKにタッチする



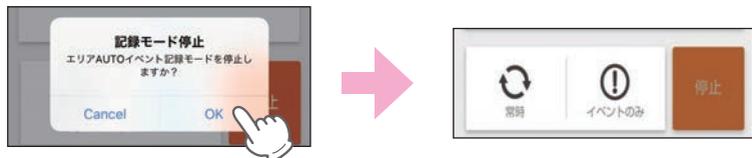
録画方法[イベントのみ]に切り替わり駐車監視を開始します。

3. 駐車監視を停止する

3-1 [停止]にタッチする



3-2 OKにタッチする



駐車監視を停止します。

※駐車監視を再開する場合は[常時]または、[イベントのみ]にタッチしてください。
記録時間経過後であっても[常時]を行うことができます。

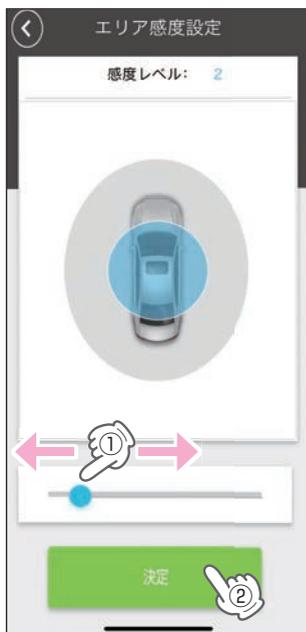
4. [エリアAUTO]のエリア感度を設定する

動作トリガ[エリアAUTO]で、録画の開始/停止するエリアの感度を設定します。
※動作トリガ[エリアAUTO]設定時のみ、「エリア感度設定」を行うことができます。

4-1 [エリア感度設定]にタッチする



4-2 感度レベルを設定し、[決定]にタッチする



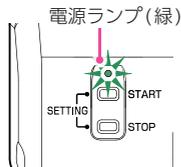
・感度レベル

1(近)～10(遠)のレベル範囲で設定します。

5. 設定画面を表示する

※車両のエンジンがOFFでは設定することができません。車両のエンジンをONしてから行ってください。

5-1 車両のエンジンをONする



電源ランプが点灯し、録画が開始されます。

5-2 [設定]にタッチする



※録画が開始されてから「設定」にタッチしてください。

5-3 [OK]にタッチする



<設定画面>

設定画面を表示します。(P.66)

設定

スマートフォンから本機の設定を変更することができます。
設定項目の詳細は、📖 P.94 を参照ください。

1. 記録設定

タッチで前の画面に戻ります。



タッチで設定を反映し、自動で録画を開始します。

★は初期値です。

No.	表示名	説明
①	録画方法	DVRモードで録画する方法を選択できます。(常時+イベント★)
②	解像度	DVRモードで記録する映像の解像度を選択できます。(2560×1080★)
③	録画コマ数	DVRモードで記録する映像の録画コマ数を選択できます。(30コマ/秒★)
④	イベント記録時間	DVRモードでのイベント記録時間を設定します。(10:10[20秒]★)
⑤	音声録音	音声も記録する場合に[ON]します。(ON★)
⑥	履歴記録コマ数	履歴記録のコマ数を選択できます。(1コマ/秒★)
⑦	上書きモード	[ON]にするとSDカードの空き容量が不足したときに録画データや履歴データを上書きします。(全ての録画方法でON★)
⑧	Gセンサ記録	[有効]にするとGセンサー記録を行います。(有効★)
⑨	ビープ音	[ON]にするとイベント記録(ワンタッチ記録とGセンサー記録)時に音が鳴ります。(ON★)

2. 監視カメラ設定

タッチで前の画面に戻ります。



タッチで設定を反映します。

★は初期値です。

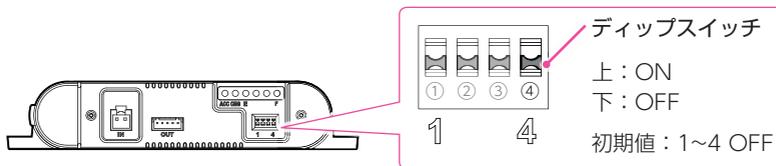
No.	表示名	説明
①	録画方法	接近監視モードで録画する方法を選択できます。(イベント記録★)
②	解像度	接近監視モードで記録する映像の解像度を選択できます。(2560×1080★)
③	録画コマ数	接近監視モードで記録する映像の録画コマ数を選択できます。(30コマ/秒★)
④	イベント記録時間	接近監視モードでのイベント記録時間を設定します。(10:10[20秒]★)
⑤	動作トリガ	車両のエンジンOFF(ACC OFF)後、駐車監視モードへ移行するためのトリガを設定します。(マニュアル★)
⑥	移行時間	動作トリガから接近監視モードへ移行する時間を設定します。(3分★)
⑦	カメラ待機時間	エリア検出によりカメラを起動してから停止するまでの時間を設定します。(1分★)
⑧	近接近記録	[ON]にすると近接近記録を行います。(ON★)
⑨	ドア開警報ディレイ	ドア開を検出してから警報するまでの時間を設定できます。(5秒★)

★は初期値です。

No.	表示名	説明
⑩	検出電圧	接近監視モード時に、車両バッテリーを監視して設定電圧以下になると接近監視モードを停止します。(12.2V★)
⑪	警報音	[ON]にすると接近監視モードのイベント時に警報音を鳴らします。(ON★)
⑫	記録時間 (マルチバッテリー 未接続時)	別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)を未接続で、接近監視モード時に車両バッテリーから電源を供給して録画方法[常時+イベント]を行う時間を設定します。(30分★)
⑬	記録時間 (マルチバッテリー 接続時)	別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000)を接続し、接近監視モード時にマルチバッテリーの電源を設定します。(使用しない★)
⑭	傾斜センサ	[ON]にすると接近監視モード時に傾斜を検出します。(ON★)
⑮	ドア開センサ	[ON]にすると接近監視モード時にドア開を検出します。(ON★)
⑯	マイクロ波センサ AUTO感度	[ON]にすると接近監視モード時に、使用環境によって自動で感度レベルを調整します。人通りが多い場所や雨などで頻繁にイベントを検出する場合にご使用ください。(OFF★)
⑰	エリア感度	人や車両を検出してカメラを起動する感度(エリア感度)を設定します。(8★)
⑱	近接近	人や車両が近づいたことを検出する感度を設定します。(5★)
⑲	弱衝撃感度	弱衝撃の感度を設定します。(5★)
⑳	強衝撃感度	強衝撃の感度を設定します。(5★)

例：別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）から3時間電源を供給する場合

2-1 別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）のディップスイッチの④がOFFになっているか確認する



※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※④をONにした場合、設定が反映できません。接続時は必ずOFFにしてください。

2-2 記録時間（マルチバッテリー接続時）の[3時間]を選択し、[完了]にタッチする



2-3 [S20に設定]にタッチし、[OK]にタッチする

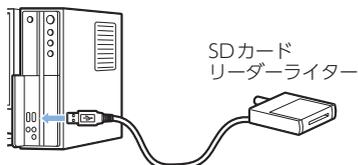


設定が反映され、操作画面に戻ります。

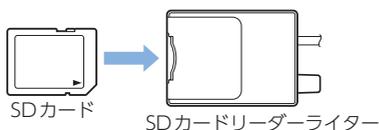
専用ソフトの使いかた

1. 録画データの準備

- 1-1 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する



- 1-2 付属の専用SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

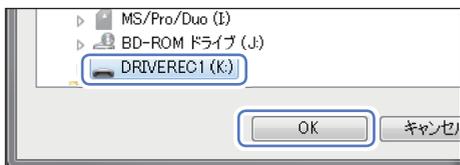
- 1-3 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



- 1-4  をクリックする



- 1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

2. 画面説明



No.	表示名	説明
①	メニューバー	フォルダを指定します。
		本機では使用しません。
		静止画に変換します。(☞ P.81)
		印刷します。(☞ P.82)
		動画変換します。(☞ P.80)
		データのバックアップをします。(☞ P.79)
		ログデータに変換します。
		レポート表示します。
		設定を変更します。(☞ P.94)
②	表示エリア	選択したデータの映像を表示します。(☞ P.73)
③	日付・時刻	映像を記録した日付と時間を表示します。(☞ P.72)
④	NIGHT(ナイト)モードボタン	映像を明るく表示します。 NIGHT : ON、 NIGHT : OFF

No.	表示名	説明
⑤	音量切替ボタン	ミュート、音量調整 (P.78) をします。
⑥	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。 ※表示したくない場合は、[読み込み] をクリックする前にメニューバーの [ツール] → [地図表示選択] → [地図を表示しない] を選択してください。
⑦	走行速度表示	GPS で記録した走行速度を表示します。
⑧	加速度表示	記録されている衝撃 (加速度) の値を、前後 (X 方向: 赤色)、左右 (Y 方向: 黄緑色)、上下 (Z 方向: 青色) で表示します。
⑨	緯度・経度表示	GPS で記録した緯度 (N)・経度 (E) を表示します。
⑩	再生ボタン / 再生速度	再生や、早送りなどの操作を行います。再生時に再生速度を表示します。(P.77)
⑪	加速度センサーグラフ	加速度センサーグラフを表示します。(P.78)
⑫	プレイリスト一覧	選択されているデータを表示します。

時刻について

時刻には本体時刻 (本体に記録されている時刻) と GPS 時刻 (GPS 測位により取得した時刻) があります。各録画方法により録画データ名で使用される時刻は異なります。

常時録画	GPS 非測位の場合は本体時刻、GPS 測位時は GPS 時刻を使用します。
イベント記録	GPS 非測位の場合は本体時刻、GPS 測位時は GPS 時刻を使用します。
履歴記録	本体時刻を使用します。

録画データ再生中の表示時刻について

録画データを再生中に本体時刻で表示 (GPS 非測位時) している場合、GPS 測位をしたタイミングで GPS 時刻に表示を更新します。



GPS 非測位 (本体時刻)



GPS 測位 (GPS 時刻)

3. 表示エリアの操作

表示エリアでは下記の操作が行えます。

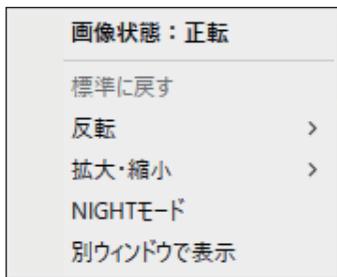
・移動

マウスの左ボタンをドラッグし、表示させたい部分まで移動します。



■ 画像表示エリアメニュー

マウスの右クリックで[画面表示エリアのメニュー]を表示します。



・画像状態

画像の向きを表示します。

・標準に戻す

反転、拡大・縮小した画像を初期表示に戻します。

・反転

[左右反転]をクリックすると、画像を左右に反転します。

[上下反転]をクリックすると、画像を上下に反転します。

[前後反転]をクリックすると、画像を前後に反転します。



左右反転



上下反転

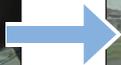


前後反転

・拡大・縮小

[拡大]をクリックすると、表示画像の中央を基準に画像を200%拡大します。

[縮小]をクリックすると、表示画面の中央を基準に画像を50%縮小します。



拡大



縮小

・NIGHTモード

映像を明るく表示します。

・別ウィンドウで表示

別のウィンドウで表示します。



別ウィンドウ



画像状態：正転	
標準に戻す	
再生	再生
反転	早送り
拡大・縮小	次コマ
NIGHTモード	逆再生
ウィンドウを閉じる	前コマ
	早戻し
	停止

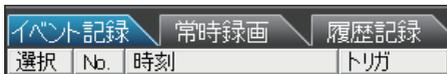
・再生

別ウィンドウ内で右クリックすると、映像の再生・停止などを操作することができます。

再生する

1. 録画データを再生する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 見たい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は P.77「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[イベント]でも同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について



No.	説明	
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン (P.78)	イベント位置(衝撃検知位置やワンタッチ記録位置)を表示します。

イベント記録のデータ名について

衝撃を検知した日付、時間がデータ名となります。

※本体時刻または、GPS測位時はGPS時刻を使用します。(P.72)

2018 / 10 / 10 12 : 34 : 56 衝撃
年 月 日 時 分 秒 トリガ(映像を記録するきっかけ)

●トリガ

DVRモードでは、イベントの種類によって「衝撃」「急発進/急ブレーキ」「急ハンドル」、記録ボタンを押して記録した場合は「ワンタッチ」と表示されます。

接近監視モードでは、イベントの種類によって「近接近」「弱衝撃」「強衝撃」「傾斜」「ドア開」と表示されます。

※トリガ表示は、走行状態によって実際の衝撃種類と異なって表示される場合があります。

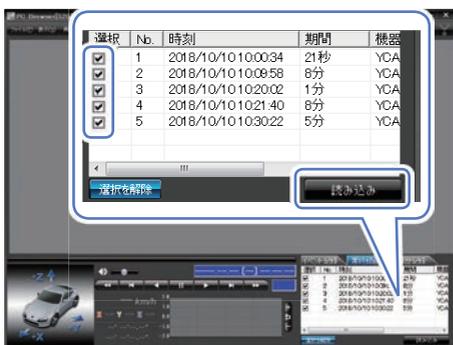
※衝撃が複数あった場合や、衝撃と急発進が重なって発生した場合は「衝撃、など」と記録されます。

2. 録画データを再生する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 見たい録画データ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は P.77「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[常時録画]でも同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について



No.	説明	
①	タイムライン	映像のタイムラインとカーソルです。黄色の縦線は、イベント位置を表しています。
②	トリガリスト表示ボタン (📷 P.78)	常時録画中のイベント位置(衝撃検知位置やワンタッチ記録位置)を表示します。

常時録画の データ名について

日付、時間、期間がデータ名となります。

※本体時刻を使用します。(📷 P.72)

2018 / 10 / 10 12:34:56 [48分]
 年 月 日 時 分 秒 期間(映像の記録時間)

3. ボタン操作について

■ 再生ボタン

映像の再生や早戻しなどを行うときは、各ボタンをクリックしてください。

※メニューバーの[再生]からも同様に操作することができます。(📷 P.78)



- ・[再生] をクリックし、[再生]、[早送り]、[次コマ]、[逆再生]、[前コマ]、[早戻し]、[停止] をクリックすると、クリックした動作を行います。
- ・記録するきっかけとなる前の映像を確認する場合は、[逆再生] や [早戻し] のボタンをクリックしてください。

■ 再生スピードの変更

◀▶ や ◀▶▶▶ ボタンを複数回クリックすることで、再生スピードを変更できます。

- ・◀▶▶▶ を1回クリックすると1倍速(通常速度)、2回クリックすると0.5倍速(スロー)で[再生]または[逆再生]できます。
- ・◀▶▶▶▶▶ を1回クリックすると2倍速、2回クリックすると4倍速、3回クリックすると8倍速、4回クリックすると16倍速で[早送り]または[早戻し]できます。

■ 再生位置の変更

つまみをスライドさせ ▶▶▶▶ ボタンをクリックすると、その場所から再生できます。



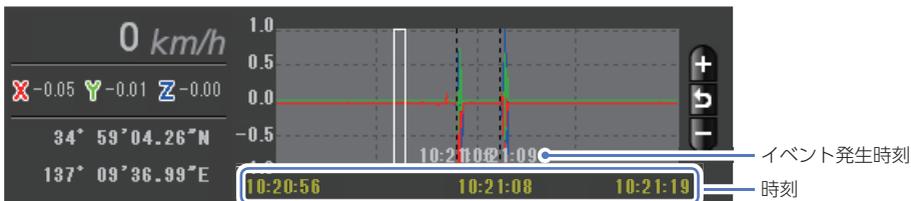
常時録画中に、イベント記録(衝撃検知)での記録があった場所を黄色の縦線で表示します。

■ 加速度センサー表示

⊕ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが拡大、⊖ ボタンをクリックすると加速度センサースケールが縮小します。

Ⓑ ボタンをクリックすると標準のスケールになります。

- ・メニューバーの[表示]→[加速度センサースケール]から[拡大][標準][縮小1][縮小2]を選択、操作しても同様の動作となります。
- ・エリア内をクリックすると、クリックしたところにカーソルが移動します。再生を開始したいところでクリックし、再生ボタンで確認ができます。



加速度センサーグラフは、記録したデータを加速度(縦軸)と時間(横軸)でグラフ表示します。

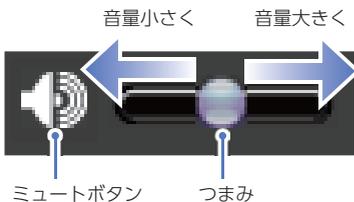
■ トリガリスト表示

☑ トリガリスト表示 ボタンをクリックするとイベントのトリガリスト表示に切り替えることができます。



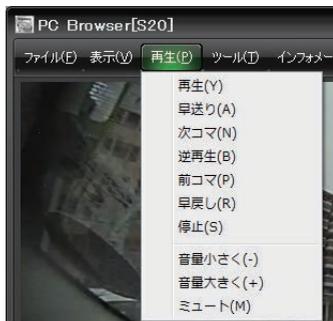
リストの項目をクリックすると、記録したイベントまでジャンプし、映像を再生することができます。

■ 音量の調整



- ・つまみをスライドさせて音量を調整します。
- ・音を消したい場合はミュートボタンをクリックしてください。もう一度クリックするとミュートを解除します。

※メニューバーの[再生]からも操作することができます。



保存する

SDカード内の映像は必要に応じて、パソコンなどにバックアップしてください。

1. バックアップ

SDカードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除 (● P.103)を行ってください。

1-1 データ名の一覧より、保存したい録画データ名に を入れ、
[読み込み]をクリックする

1-2  (バックアップ)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[バックアップ]でも同じ画面表示になります。
※記録設定画面の[バックアップ]でも同じ画面表示になります。

1-3 保存先を指定し、[スタート]をクリックする



バックアップ用に作成したフォルダを指定します。

※[全てバックアップ]に を入れるとSDカードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

1-4 [OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

2. 動画変換

記録されたデータをAVI形式の動画に変換して保存できます。

動画変換した映像をみる

動画変換して保存したファイルはMicrosoft Media Player Ver12.0以上で再生できます。

2-1 データ名の一覧より、動画変換したい録画データ名に を入れ、
[読み込み]をクリックする

2-2  (動画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[動画変換]でも同じ画面表示になります。

2-3 変換区間、圧縮形式、字幕、保存先やファイル名を指定し、[スタート]
をクリックする



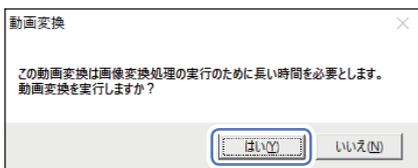
・変更区間について

全て変換するの を外すと変換区間を指定できます。

・字幕について

[日時指定]などに を入れると、選択した情報を動画上に表示します。

2-4 [はい]をクリックする



2-5 [OK]をクリックする

動画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

※ * (映像を記録した日時とカメラ番号か、指定した名称).avi ファイルが保存されます。

3. 静止画変換

表示エリアに表示されている映像をJPEG形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて]または[コマ数指定]を選択します。

静止画変換した映像をみる

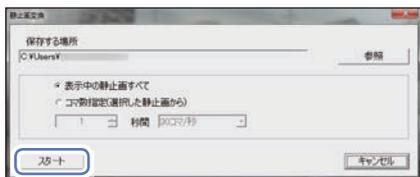
静止画変換しJPEG形式で保存した画像はWindowsの標準ソフトで見ることができます。

3-1 データ名の一覧より、静止画変換したい録画データ名に を入れ、
[読み込み]をクリックする

3-2  (静止画変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[静止画変換]でも同じ画面表示になります。

3-3 [表示中の静止画すべて]、または[コマ数指定]を選択し、お好みの
保存先を指定し、[スタート]をクリックする



・表示中の静止画

現在表示されている録画ファイルを静止画に変換できます。

・コマ数指定(選択した静止画から)

表示エリアの録画ファイルから範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

秒間 …… 範囲指定された、表示エリアの録画ファイルの長さ(秒)を表示しています。

コマ/秒 … 1秒間を何コマで分割するかを設定します。

※ 選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数(● P.33)が反映されます。

※ 静止画枚数は秒×コマ数になります。

3-4 [OK]をクリックする

静止画変換が完了すると「完了しました」と表示されます。[OK]をクリックして終了してください。

印刷する

1. 記録した映像を印刷する

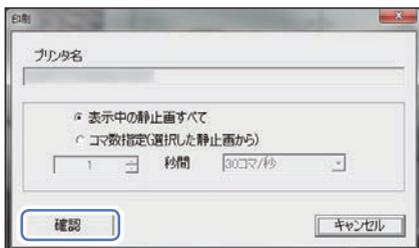
表示している映像を印刷することができます。

1-1 データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に を入れ、**[読み込み]**をクリックする

1-2  (印刷)をクリックする

※メニューバーの[ファイル]→[印刷]でも同じ画面表示になります。

1-3 **[表示中の静止画すべて]**または**[コマ数指定]**を選択し、**[確認]**をクリックする



・表示中の静止画

表示エリアの映像を印刷します。

・コマ数指定

表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割して印刷します。

※選択できる最大コマ数は、設定の録画コマ数(● P.66、94)が反映されます。
※印刷枚数は秒×コマ数になります。

1-4 印刷する



・印刷

印刷枚数を確認します。[OK]をクリックすると印刷を行います。

・プリンタ設定

印刷するプリンタの設定を行います。

・1コマ表示

1枚に1コマの映像データを表示します。

・4コマ表示

1枚に4コマの映像データを表示します。

1-5 **[閉じる]**をクリックする

印刷を終了します。

履歴記録

1. 履歴記録を見る

走行ルートや映像を記録したポイントを確認することができます。本体が電源ONしている間、GPS測位によって約1秒ごとに自車位置を記憶し、設定した時間分（☛ P.66、94）の履歴（ログデータ）をSDカードに保存します。

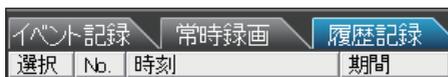
※GPS測位できない場合は、自車位置を記録できません。

※合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

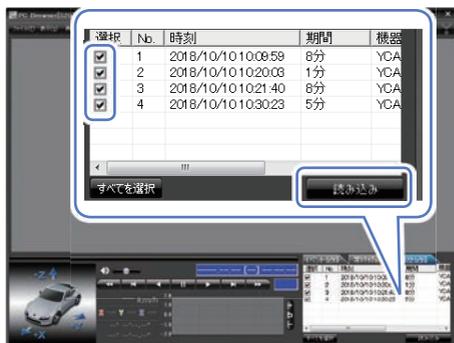
※履歴（ログデータ）を作らないようにすることはできません。

※履歴記録のデータ名は本体時刻を使用します。（☛ P.72）

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 データ名の一覧より、見たいデータ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



選択したデータが読み込まれ表示されます。再生時のボタン操作は☛ P.77「ボタン操作について」を参照ください。

※複数のデータを選択できます。

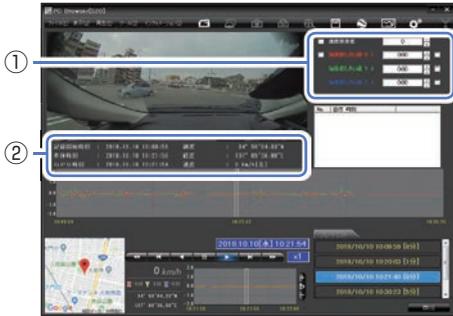
※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]でも同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

■ 画面表示について



No.	説明	説明
①	検索	加速度の値を設定し、検索することができます。
②	データ情報(記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度)	映像の記録日などの情報を表示できます。

■ 検索

履歴の中から設定した値を越える衝撃(加速度)の映像を検索でき、データとして表示します。



- ・ を入れ、任意の数字を入力してください。
- ・ 検索ボタンをクリックすると入力した条件で検索します。

No.	表示名	説明
①	速度検索値	検索したい速度の値を設定します。
②	加速度しきい値X±	検索したい前後方向の値を設定します。
③	加速度しきい値Y±	検索したい左右方向の値を設定します。
④	加速度しきい値Z±	検索したい上下方向の値を設定します。

■ データ情報

読み込まれたデータ名の記録開始時刻、本体時刻、GPS時刻、緯度、経度、速度(進行方向)を表示します。

記録開始時刻	: 2018.10.10 10:09:59	緯度	: 34° 59'04.33"N
本体時刻	: 2018.10.10 10:21:50	経度	: 137° 09'36.98"E
GPS時刻	: 2018.10.10 10:21:54	速度	: 0 km/h[北]

ログデータ変換

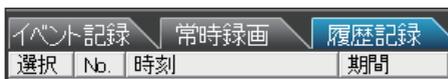
1. Google Earth用のデータに変換する

蓄積された履歴データをKMLファイルに変換できます。変換したKMLファイルを使ってGoogle Earth上で全走行ルートが表示ができます。また記録した録画ファイルを静止画に変換し(● P.81)、Google Earthの機能を使ってルート上に表示・保存できます。

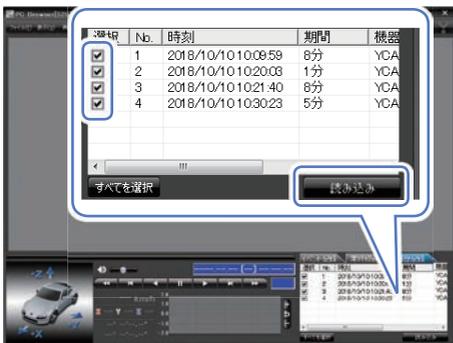
※あらかじめGoogle EarthのホームページよりGoogle Earthをダウンロードし、パソコンにインストールしておく必要があります。

※Google Earthのご使用方法等は、Google Earthのホームページをご確認ください。

1-1 [履歴記録]をクリックする



1-2 変換したいデータ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてが表示されます。

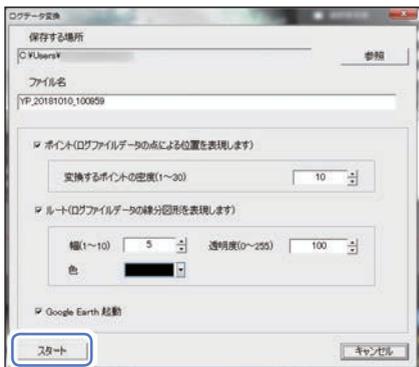
※メニューバーの[ファイル]→[読み込み]→[履歴記録]を選択しクリックしても同じ画面表示になります。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

1-3 (ログデータ変換)をクリックする

※メニューバーの[ツール]→[ログデータ変換]でも同様の動作となります。

保存する場所、お好みのファイル名、ポイント、ルートを設定し、**[スタート]**をクリックする



■ ポイント(ログファイルデータの点による位置を表現します)

GPS測位による1秒間隔の自転車位置変化をポイントとしてGoogle Earthに表示させ、通過時刻や進行方向を見ることができます。

- ・変換するポイントの密度：(1～30)

Google Earthに表示させる自転車位置の間隔を秒数(1～30)で設定します。数値を大きくすると間隔が、粗く(広く)なります。数値を小さくすると自転車位置の細かな変化を見ることができます。

■ ルート(ログファイルデータの線分図形を表現します)

走行軌跡を線で表示します。

- ・幅：(1～10)
走行軌跡表示の幅を設定します。
- ・透明度：(0～255)
走行軌跡表示の透明度を設定します。0は完全な透明を意味し、数字が大きくなるほど線は濃くなっていきます。
- ・色
走行軌跡表示の色を設定します。

■ Google Earth 起動

ログファイル保存完了後、Google Earthを自動で起動します。

[OK]をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。**[OK]**をクリックし終了してください。

※**[Google Earth 起動]**にを入れると、ログファイル保存完了後Google Earthが起動し、画面上に走行軌跡が表示されます。

※走行軌跡はGoogle Earth上の道路や地形と必ずしも一致しません。ズレて表示されることがありますのでご了承ください。

レポート表示する

レポートを作成し表示することができ、またレポートを印刷することもできます。

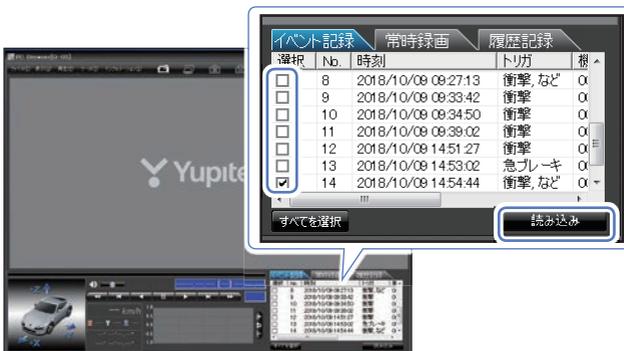
※一度に複数のレポートは表示できません。

1. レポート表示(印刷)する(イベント記録)

1-1 イベント記録をクリックする



1-2 表示したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてにが表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

1-3 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示) をクリックする



イベント記録レポートが表示されます。



No.	表示名	説明	
①	発生日時	イベント発生日時を表示します。	
②	速度	平均速度と最高速度を表示します。	
③	イベント種類	イベントの種類を表示します。	
④	画像	録画データの開始/終了時、イベント発生時とその前後2秒の画像を表示します。	
⑤	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑥	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)	
⑦	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑧	地図	地図を表示します。	

1-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ ボタンの機能

ボタン	説明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

2. レポート表示(印刷)する(常時録画)

2-1 常時録画をクリックする



2-2 表示したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする



選択した録画データが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてにが表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

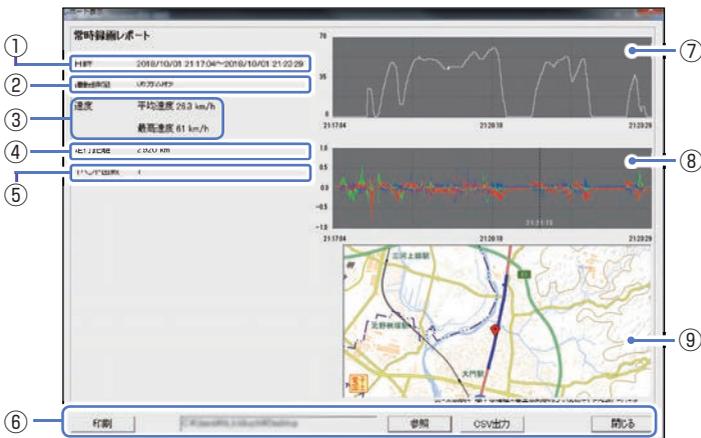
※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

2-3 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示) をクリックする



常時録画レポートが表示されます。



No.	表示名	説明	
①	日時	録画データの日時を表示します。	
②	運転時間	運転時間を表示します。	
③	速度	平均速度と最高速度を表示します。	
④	走行距離	走行距離を表示します。	
⑤	イベント回数	イベント回数を表示します。	
⑥	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。
⑦	速度グラフ	速度グラフを表示します。(縦軸は速度、横軸は時間を示します。)	
⑧	加速度グラフ	加速度グラフを表示します。(縦軸は加速度、横軸は時間を示します。)	
⑨	地図	地図を表示します。	

2-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

・ ボタンの機能

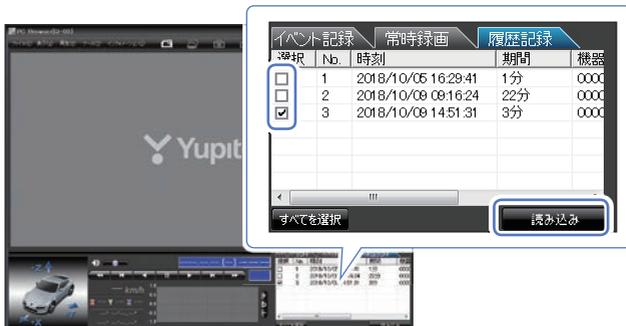
ボタン	説明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

3. レポートを表示(印刷)する(履歴記録)

3-1 履歴記録をクリックする



3-2 表示したいデータ名に を入れ、[読み込み]をクリックする



選択したデータが読み込まれ表示されます。

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてにが表示されます。

※複数のデータを選択した場合は、プレイリスト最上段の映像が表示されます。

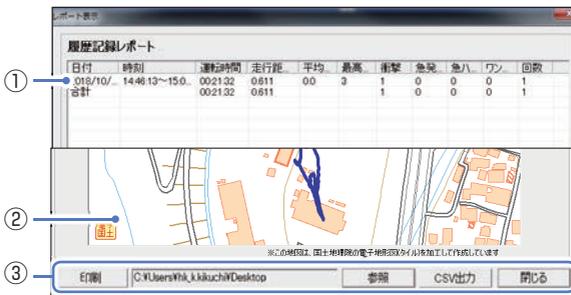
※[ファイル]をクリックし[読み込み]から[イベント]をクリックしても同じ画面表示になります。

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

3-3 表示したいデータを選択し、 (レポート表示)をクリックする



履歴記録レポートが表示されます。



No.	表示名	説明	
①	日付	記録年月日を表示します。	
	時刻	記録開始から終了の時刻を表示します。	
	運転時間	運転時間を表示します。	
	走行距離	走行距離を表示します。	
	平均速度	平均速度を表示します。	
	最高速度	最高速度を表示します。	
	衝撃	「衝撃」イベントの回数を表示します。	
	急発進/急ブレーキ	「急発進/急ブレーキ」イベントの回数を表示します。	
	急ハンドル	「急ハンドル」イベントの回数を表示します。	
	ワンタッチ	ワンタッチ記録の回数を表示します。	
	回数	イベント回数の合計を表示します。 その他のイベントも含まれます。	
②	地図	地図を表示します。	
③	ボタン	印刷	印刷プレビューを表示します。
		参照	CSVデータの出力先を設定します。
		CSV出力	CSVデータを出力します。
		閉じる	レポート表示を閉じます。

3-4 印刷する場合は、[印刷]ボタンをクリックする

■ 印刷プレビュー表示例



プレビュー画面が表示されます。

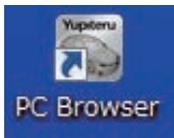
・ ボタンの機能

ボタン	説明
印刷	印刷します。
プリンタ設定	プリンタを設定します。
備考記入	備考欄に記入できます。
閉じる	印刷プレビューを閉じます。

設定画面の表示方法

1. 設定画面を表示する

1-1 [PC Browser]アイコンをクリックする



専用ソフトが起動します。

1-2 SDカードリーダーライターをパソコンに接続する



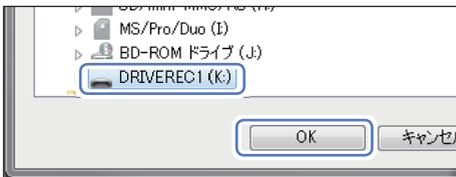
1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



1-4 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



1-5 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする

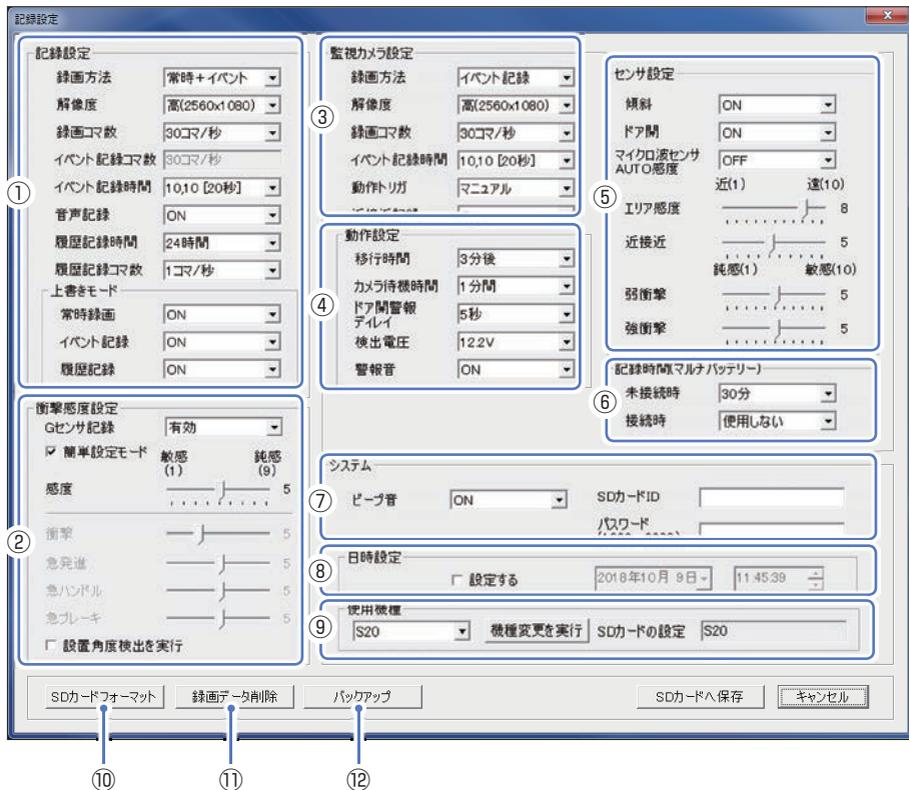


設定画面が表示されます。(☞P.94)

※メニューバーの[ファイル]→[データフォルダを指定]→[DRIVEREC1]を選択しても同じ画面表示になります。

設定

※表示方法は P.93「設定画面の表示方法」を参照ください。



- ① 記録設定 (P.95)
- ② 衝撃感度設定 (P.97)
- ③ 監視カメラ設定 (P.98)
- ④ 動作設定 (P.99)
- ⑤ センサ設定 (P.99)
- ⑥ 記録時間(マルチバッテリー)(P.100)
- ⑦ システム (P.102)
- ⑧ 日時設定 (P.102)
- ⑨ 使用機種 (P.102)
- ⑩ SDカードフォーマット (P.103)
- ⑪ 録画データ削除 (P.103)
- ⑫ バックアップ (P.104)

- ・設定変更を行う場合は必ずSDカードをリーダーライターに接続してご使用ください。設定内容はSDカードに保存されます。
- ・設定変更後は[SDカードへ保存]→[はい]をクリックしSDカードに設定を保存してください。SDカードを本体に戻し、電源ONすると設定内容が本体に反映されます。

1. 記録設定

■ 録画方法

DVRモードで録画する方法を[常時録画][イベント記録][常時+イベント]から選択できます。

常時録画	エンジン始動時からエンジン停止直前までの映像をSDカードに記録します。「30コマ/秒」で、付属の専用SDカード(16GB)に約100分の常時録画が可能です。 ※[常時録画]に設定した場合、イベント記録の映像は記録されません。ただし、イベント検出されたことは、常時録画の録画データ内にトリガとして記録されます。
イベント記録	衝撃を検知した場合に映像を記録します。
常時+イベント	常時録画を行いながら衝撃を検知した場合、映像を別のデータで記録します。

※初期値は[常時+イベント]です。

記録形式変更時の注意

- ・すでにSDカードに記録した録画データがあり、現在の設定から別の記録形式へ変更する場合([常時録画]から[イベント記録]への変更など)は、SDカードに記録されている録画データを削除し、新たに変更した設定内容で記録を行います。
- ・設定を変更する場合は、SDカードに記録している録画データをパソコンなどにバックアップ(☛P.79)してください。削除した録画データは、元に戻せませんのでご注意ください。

■ 解像度

DVRモードで記録する映像の解像度を選択できます。

解像度	高(2560×1080)、低(1792×756)
-----	--------------------------

※初期値は[高(2560×1080)]です。

■ 録画コマ数

DVRモードで記録する映像のコマ数を選択できます。

録画コマ数	30,15,10,5,1コマ/秒、2,1コマ/分*1、12,6/時*1
-------	-------------------------------------

※初期値は[30コマ/秒]です。

※1:[常時録画][常時録画+イベント]で有効になります。

※1:録画コマ数を[2コマ/分]、[1コマ/分]、[12コマ/時]、[6コマ/時]に設定した場合、イベント記録コマ数は[1コマ/秒]になります。

■ イベント記録時間

DVRモードでのイベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

イベント記録時間	60秒(30,30)、50秒(30,20)(25,25)、40秒(20,20)(25,15)(30,10)、30秒(18,12)(20,10)、20秒(10,10)(12,8)(15,5)
----------	--

※初期値は[10,10[20秒]]です。

■ 音声録音

音声も記録する場合に [ON] にします。

※初期値は [ON] です。

■ 履歴記録時間

24時間、168時間、480時間のログ(加速度/時間)を記録します。

※初期値は [24時間] です。

■ 履歴記録コマ数

1秒間に記録する履歴記録のコマ数を [1コマ/秒][2コマ/秒]から選択できます。

※初期値は [1コマ/秒] です。

■ 上書きモード

[常時録画][イベント記録][履歴記録]それぞれのSDカードの空き容量が不足したときの映像や履歴の保存方法を選択できます。[ON]または[OFF]から選択します。

ON	SDカードの容量がいっぱいになると古いデータから順に上書きします。
OFF	SDカードの容量がいっぱいになると映像は保存しません。

※初期値は全ての録画方法で [ON] です。

2. 衝撃感度設定

■ Gセンサ記録

Gセンサー記録の[有効]、[無効]を切り替えます。

※初期値は[有効]です。

※[有効]にした場合、[常時録画]に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の録画データにトリガのみマークします。

※[無効]にした場合、すべての録画方法において、Gセンサー記録を行いません。

・簡単設定モード

衝撃感度を選択できます。

敏感(1)～鈍感(9)までの9段階から設定できます。工場出荷時は[5]に設定されています。



感度レベル	動作・使用条件
1(敏感)	急ハンドルや急ブレーキ等、危険運転も記録したい場合
↕	標準設定(基本的に事故のみを記録)
9(鈍感)	通常運転時に反応してしまう場合

※車両や運転によって異なる場合がありますので、目安としてお考えください。

簡単設定モードの を外すと急発進、急ハンドル、急ブレーキの各感度を敏感～鈍感までの9段階から個別に設定でき、衝撃は、15段階から設定できます。

- ・加速や減速、路面の凹凸などに反応(本体から『ピー』と鳴る)しすぎる場合は、感度を鈍感側にしてください。
- ・感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ・動作確認のための公道での危険な運転は、行わないでください。

■ 設置角度検出

本機を初めて取り付けるときや、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。操作手順は  P.43を参照ください。

3. 監視カメラ設定

■ 録画方法

接近監視モードで録画する方法を[イベント記録][常時+イベント]から選択できます。

イベント記録	エリア検出によりカメラを起動し、各センサー(近接近、衝撃、傾斜、ドア開)が検出するとイベント記録を行います。
常時+イベント	常に記録を行い、各センサー(衝撃、傾斜、ドア開)が検出するとイベント記録を行います。

※初期値は[イベント記録]です。

■ 解像度

接近監視モードで記録する映像の解像度を選択できます。

解像度	高(2560×1080)、低(1792×756)
-----	--------------------------

※初期値は[高(2560×1080)]です。

■ 録画コマ数

接近監視モードで記録する映像のコマ数を選択できます。

録画コマ数	30,15,10,5,1 コマ/秒
-------	-------------------

※初期値は[30コマ/秒]です。

■ イベント記録時間

接近監視モードでのイベント記録時間を設定します。

衝撃検知前の時間(秒)と衝撃検知後の時間(秒)の組み合わせを選択できます。

イベント記録時間	60秒(30,30)、50秒(30,20)(25,25)、40秒(20,20)(25,15)(30,10)、30秒(18,12)(20,10)、20秒(10,10)(12,8)(15,5)
----------	--

※初期値は[10,10[20秒]]です。

■ 動作トリガ

車両のエンジンOFF(ACC OFF)後、接近監視モードへ移行するためのトリガを設定します。

マニュアル	車両のエンジンOFF時に、手で接近監視モードに移行します。
ACC OFF連動	車両のエンジンOFF後、自動で接近監視モードに移行します。
エリアAUTO	車両のエンジンOFF後、Bluetoothペアリングしたスマートフォンがエリア感度外(● P.64)になると、接近監視モードで駐車監視を開始します。 ※Bluetoothペアリングされていない、または通信できていない場合は「ACC OFF連動」と同じ動作になります。

※初期値は[マニュアル]です。

■ 近接近記録

[ON]にすると接近監視モードで近接近記録を行います。

※初期値は[ON]です。

4. 動作設定

■ 移行時間

動作トリガから接近監視モードへ移行する時間を設定します。

移行時間	3分後、5分後
------	---------

※初期値は[3分後]です。

■ カメラ待機時間

監視カメラ設定の録画方法[イベント記録]時に、エリア検出によりカメラを起動してから停止するまでの時間を設定します。

※停止直前にイベント記録が発生した場合、イベント記録が終了するまでカメラ待機時間を最大4分間延長します。[4分間]に設定した場合、延長はしません。

待機時間	1分間、2分間、3分間、4分間
------	-----------------

※初期値は[1分間]です。

■ ドア開警報ディレイ

ドア開を検出してから警報するまでの時間を設定できます。

待機時間	0秒間、5秒間、10秒間、15秒間、20秒間
------	------------------------

※初期値は5秒です。

■ 検出電圧

接近監視モード時に、車両バッテリーを監視して設定電圧以下になると接近監視モードを停止します。

※記録時間の設定に関係なく、車両バッテリーが設定電圧以下になった場合、接近監視モードを停止します。

待機時間	12.8V、12.6V、12.4V、12.2V、12.0V、11.8V、11.6V
------	---

※初期値は[12.2V]です。

■ 警報音

[ON]にすると接近監視モード時に傾斜・ドア開・衝撃などのイベントが発生した際に、警報音を鳴らします

※初期値は[ON]です。

5. センサ設定

■ 傾斜

[ON]にすると接近監視モード時に傾斜を検出します。

※初期値は[ON]です。

■ ドア開

[ON]にすると接近監視モード時にドア開を検出します。

※初期値は[ON]です。

■ マイクロ波センサ AUTO 感度

[ON]にすると接近監視モード時に、使用環境によって自動で感度レベルを調整します。人通りが多い場所や雨などで頻繁にイベントを検出する場合にご使用ください。

※初期値は[OFF]です。

■ エリア感度

人や車両を検出してカメラを起動する感度(エリア感度)を設定します。

1 ~ 10	エリア感度を1(近) ~ 10(遠)で設定します。
OFF	エリア検出を行いません。

※初期値は[8]です。

※エリア検出とイベント発生(近接近・衝撃・傾斜・ドア開)を同時に検出した場合、イベント発生前の10秒は記録されません。また、イベント発生時にカメラを起動するため、イベント記録が開始されるまで数秒かかり、イベント発生時の映像が記録されない場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 近接近

人や車両が近づいたことを検出する感度を設定します。

1 ~ 10	近接近を1(近) ~ 10(遠)で設定します。
--------	-------------------------

※初期値は[5]です。

■ 弱衝撃

弱衝撃の感度を設定します。

1 ~ 10	弱衝撃を1(鈍感) ~ 10(敏感)で設定します。
OFF	弱衝撃の検出を行いません。

※初期値は[5]です。

■ 強衝撃

強衝撃の感度を設定します。

1 ~ 10	強衝撃を1(鈍感) ~ 10(敏感)で設定します。
OFF	強衝撃の検出を行いません。

※初期値は[5]です。

6. 記録時間(マルチバッテリー)

■ 未接続時

接近監視モード時に車両バッテリーから電源を供給して録画方法[常時+イベント]を行う時間を設定します。

※未接続の時間は録画方法[常時+イベント]にのみ反映されます。記録時間経過後は、録画方法[イベント記録]に自動で切り替わり、接近監視モードを継続して行います。

記録時間	30分、1時間
------	---------

※初期値は[30分]です。

■ 接続時

別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）を接続し、接近監視モード時にマルチバッテリーから電源供給を行う時間を設定します。

※記録時間経過後は、車両のバッテリーから電源の供給を行います。また録画方法に関係なく[イベント記録]に自動で切り替わり、接近監視モードを継続して行います。

※設定に関係なく、マルチバッテリー内蔵電池が少なくなった場合には内蔵電池からの電源供給を自動的に停止します。停止後は、車両のバッテリーから電源供給を行い、録画方法[イベント記録]で接近監視モードを継続して行います。

※マルチバッテリーを接続しない場合は必ず「使用しない」に設定してください。「使用しない」以外に設定すると、正しく動作しない場合があります。

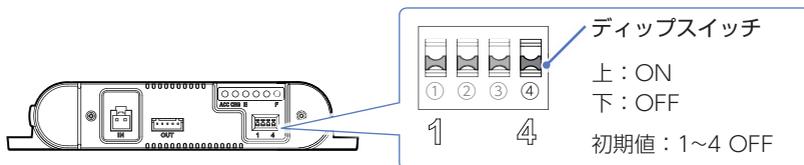
記録時間

使用しない、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、12時間

※初期値は「使用しない」です。

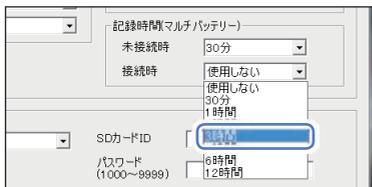
例：別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）から3時間電源を供給する場合

6-1 別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000）のディップスイッチの④がOFFになっているか確認する



※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。
※④をONにした場合、設定が反映できません。接続時は必ずOFFにしてください。

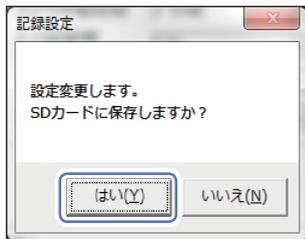
6-2 接続時を[3時間]に設定する



6-3 [SDカードへ保存]をクリックする



6-4 [はい]をクリックする



設定をSDカードに保存し記録設定画面を閉じます。
SDカードを本体へ装着し、電源ONして設定を反映させてください。

7. システム

■ビープ音

[ON]にするとイベント記録(ワンタッチ記録とGセンサー記録)時に音が鳴ります。
※初期値は[ON]です。

■SDカードID

SDカードIDを設定できます。SDカードIDと本機IDをログに書き込むことでSDカードと本機の管理に役立てることができます。

■パスワード

設定変更、録画データ閲覧を制限するためのパスワードを設定できます。
(1000～9999の4桁)

8. 日時設定

[設定する]に を入れ、日付や時刻を設定できます。

※本体を電源ONするとSDカードから読み込み、日時を修正します。現在時刻ではなく、次に本体を電源ONする日付や時刻を想定して設定してください。

※GPS測位している場合、電源OFFした際に本体時刻の補正が自動的に行われます。

9. 使用機種

使用する機種を選択できます。使用する機種を選択し[機種変更を実行]をクリックしてください。(P.107)

※メニューバーの「ツール」→「機種選択」からも使用機種を選択できます。

10. SDカードフォーマット

一度SDカード内のデータをすべて消去し、必要なデータを書き戻します。工場出荷時の状態に戻す場合や、SDカードからの読み込みが遅くなった場合にフォーマットを行ってください。また、数ヶ月に一度、専用ソフトでSDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.14「SDカードフォーマットの手順」)

※パソコンによるSDカードのフォーマットは行わないでください。本機が正常に動作しなくなる場合があります。フォーマットを行う場合は、専用ソフトで行ってください。

※必ずSDHC規格またはSDXC規格に対応したSDカードリーダーライターやカードスロットを備えたパソコンをご使用ください。それぞれの規格に対応していない場合、SDカードを認識していても初期化やフォーマットが正しくできないことがあります。

11. 録画データ削除

録画データ削除をクリックすると[録画データ削除]と[記録設定データ初期化]が選択画面に表示されます。

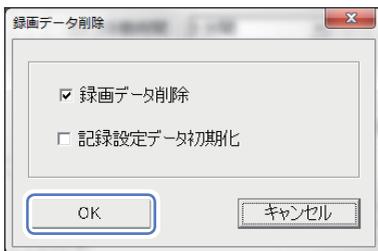
- ・SDカード内に記録されたデータを削除します。
- ・いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。(☛ P.79)

例：録画データのみ削除する場合

11-1 [録画データ削除]をクリックする

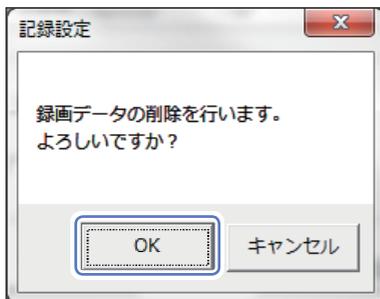


11-2 「録画データ削除」に が入っているか確認し、[OK]をクリックする

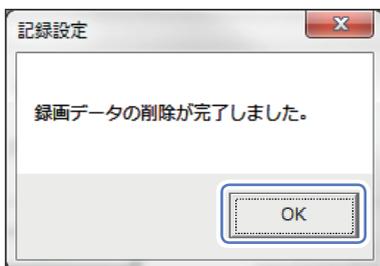


- ・録画データ削除
 を入れると録画データを削除します。
 - ・記録設定データ初期化
 を入れると記録設定データを初期化します。
- ※録画データの削除と初期化を同時に行う場合は、両方に を入れてください。

11-3 [OK]をクリックする



11-4 [OK]をクリックする



12. バックアップ

SDカードに記録されてるデータをパソコンなどにバックアップできます。操作手順は、 P.79を参照ください。

インフォメーション

■ バージョン情報

ソフトウェアのバージョンなどを表示します。

■ ホームページ

クリックするとユピテルのホームページを開くことができます。

画面右上の  をクリックしてもユピテルホームページを開くことができます。

■ Google Maps/Google Earth 追加利用規約^{*1}、Google Privacy Policy^{*1}

クリックするとGoogle Maps/Google Earthなどの利用規約を確認することができます。

※1：インターネットの接続が必要になります。あらかじめパソコンをインターネットに接続してから行ってください。

別売品のSDカードを使用する前に・・・

別売品のSDカード(OP-SD08、OP-SD16、OP-SD32、OP-SD64、OP-SD128)を本機で使用する場合、「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」が必要になります。使用前には必ず下記の手順で行ってください。

※そのまま使用した場合、正常に動作しません。あらかじめご了承ください。

※専用ソフトに接続した際に、「有効なSDカードではありません」と表示された場合にも下記の操作を行ってください。

※別売品のSDカード(OP-SD64、OP-SD128)をお使いのときは、リーダーライターがSDXCメモリーカードに対応しているかご確認ください。対応していないリーダーライターに接続すると、SDXCメモリーカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

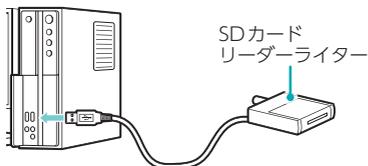
1. 使用前の準備

1-1 最新の専用ソフトに更新する

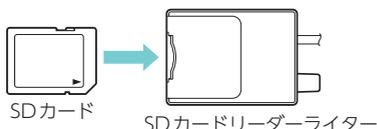
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

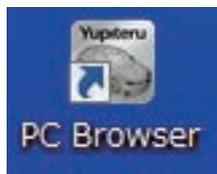


1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



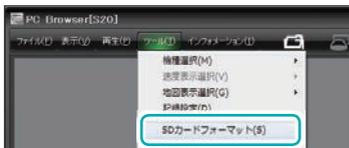
1-5 メニューバーの[ツール]→[機種選択]→[S]→[S20]を選択する



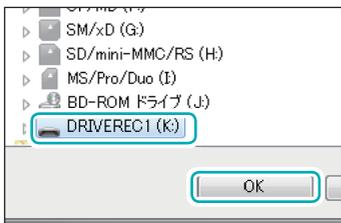
PC Browserの右側に[S20]と表示されます。

※間違った機種を選択した場合、本機は正常に動作しません。

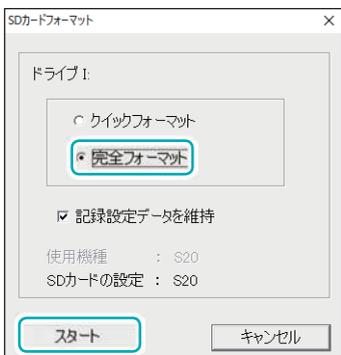
1-6 メニューバーの[ツール]
→[SDカードフォーマット]
を選択する



1-7 [DRIVERREC1]を選択し、
[OK]をクリックする



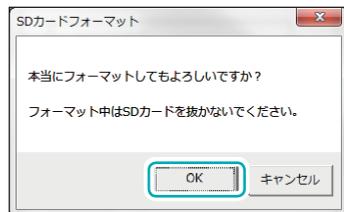
1-8 [完全フォーマット]を選択し、
[スタート]をクリックする



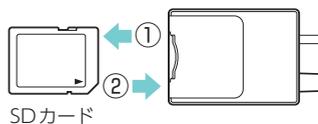
1-9 [OK]をクリックする



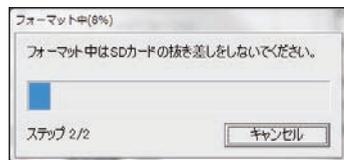
1-10 [OK]をクリックする



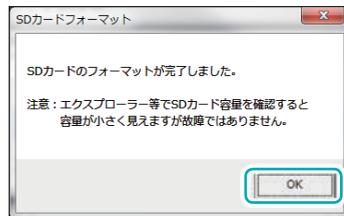
1-11 SDカードを抜き差しする



SDカード



1-12 [OK]をクリックする



以上で使用前の準備は終了です。
各種設定 (● P.94) を行ってから
SDカードをパソコンから取り出し、
本機に装着してご使用ください。

SDカードの機種設定の確認/変更

専用ソフトで、SDカードの機種設定を確認することができます。SDカードの機種設定と使用するドライブレコーダーが異なると、録画できない場合があります。使用するドライブレコーダーを変更する場合は、必ずSDカードの機種設定を変更してください。(P.108)

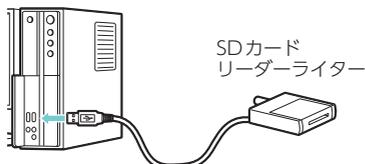
1. SDカードの機種設定を確認する

1-1 最新の専用ソフトに更新する

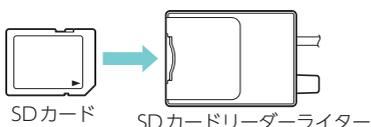
下記のURLから最新のバージョンに更新してください。

https://www.yupiteru.co.jp/download/update/bu_drr.html

1-2 SDカードリーダーライターを専用ソフトがインストールされているパソコンに接続する

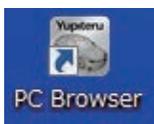


1-3 SDカードをSDカードリーダーライターに接続する



※ご使用のSDカード容量に対応していないSDカードリーダーライターを使用した場合、SDカード内のデータが破損することがあります。

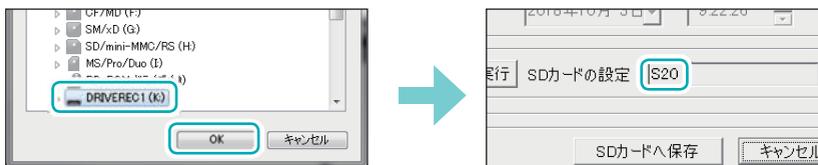
1-4 デスクトップの[PC Browser]アイコンをダブルクリックする



1-5 メニューバーの[ツール]→[記録設定]を選択する



1-6 [DRIVEREC1]を選択し、[OK]をクリックする



設定画面の「SDカードの設定」に設定している機種名が表示されます。

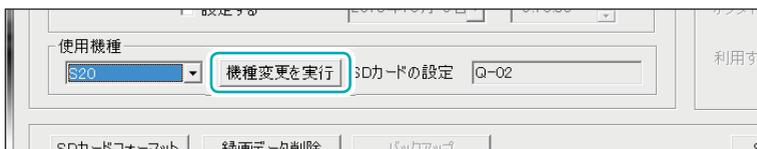
2. SDカードの機種設定を変更する

例) Q-02 で設定されたSDカードをS20に変更する。

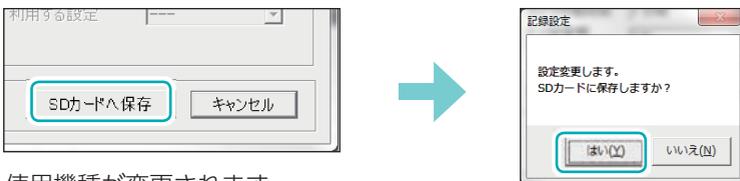
2-1 設定画面の[使用機種] をクリックし使用機種を選択する



2-2 [機種変更を実行]をクリックする



2-3 [SDカードへ保存]をクリックし、[はい]をクリックする



使用機種が変更されます。

※「設定が変更されたためデータを削除します。バックアップしますか?」と案内を表示する場合があります。表示した場合は、SDカードをフォーマットし録画データが削除されます。必要に応じて録画データをバックアップしてください。

動作一覧

■ ACC ON時(DVRモード)

動作状態	電源ランプ	音	備考
録画停止中	緑点滅	ピー	—
録画中	緑点灯	ピー	—
容量不足警告	—	ピーピーピーピー	ACC ON時
接近監視モード履歴	—	ピュピュ	ACC ON時

■ ACC OFF時(直後)

動作状態	電源ランプ	音	備考
マニュアルモード	橙点滅	ピピッ・ピピッ…	動作トリガ：マニュアル
接近監視モード移行	赤点滅	ピロピロピロ	動作トリガ：マニュアル
キャンセルエリア	橙点滅	ピピッ・ピピッ…	動作トリガ：ACC OFF 連動、 エリア AUTO
一時キャンセルエリア	橙点滅	ピピピッ・ピピピッ…	動作トリガ：ACC OFF 連動、 エリア AUTO
監視エリア	赤点滅	ピロピロピロ	動作トリガ：ACC OFF 連動、 エリア AUTO
一時監視エリア	赤点滅	ピーピロピロピロ	動作トリガ：ACC OFF 連動、 エリア AUTO

■ ACC OFF時(接近監視モード)

動作状態	電源ランプ	音	備考
録画停止中	消灯	—	—
録画中	消灯	—	—
イベント記録中	橙点滅	イベント記録により 異なる(🔊 P.27)	—

本体の動作	録画ランプの状態	音	参照ページ
録画準備中または録画停止中 ※ 録画方法「イベント記録」でイベント記録待機中も同様になります。	点滅(遅い) (赤) 	なし	☛ P.95
常時録画中	点灯 (青) 	なし	☛ P.23
常時録画中(上書き時)	点滅(遅い) (青) 	なし	☛ P.29
イベント記録中	点滅(早い) (青) 	『ピー-----』と鳴る	☛ P.24
イベント記録中(上書き時)	点滅(3回点滅を繰り返す) (青) 	『ピー-----』と鳴る	☛ P.29
駐車記録中(イベント記録中) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	イベント記録中の動作と同様になります。		
駐車記録中(イベント記録中：上書き時) ※ マルチバッテリー設定を使用した場合。	イベント記録中(上書き時)の動作と同様になります。		

※いずれの記録方法もSDカードの上限に達していない場合。

※マルチバッテリー設定を使用しない場合の駐車記録は、常時録画・イベント記録の動作と同様になります。

こんなときは

※音を止める場合は、録画ランプ(記録ボタン)を押してください。

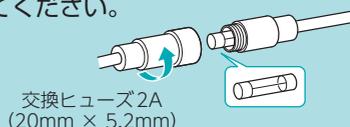
※SDカードエラーが頻繁に起こる場合は、新しいSDカードに交換してください。

録画ランプ	音	対処方法
(赤) 	『ピー』と鳴る	<input type="checkbox"/> 付属の専用SDカードが正しく挿入されていません。 付属の専用SDカードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンをOFFし、付属の専用SDカードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
(青)  消灯  消灯  消灯 (赤)  消灯  消灯  消灯  消灯 10秒間交互に点滅 赤だけ点灯	『ピーピーピー』と鳴る	<input type="checkbox"/> SDカードのプロテクトスイッチがON(書き込み禁止)になっていませんか。 車両のエンジンをOFFして、付属の専用SDカードを抜き取り、プロテクトスイッチをOFFにして、再度正しく挿入してください。 <input type="checkbox"/> 本機専用以外のSDカードが挿入されていませんか。 付属または本機専用のSDカードを正しく挿入してください。(☛ P.19) <input type="checkbox"/> 「SDカードフォーマット」と「使用する機種での設定(機種選択)」を行ってください。(☛ P.105「使用前の準備」)
(青)  消灯  消灯  消灯 (赤)  消灯  消灯  消灯  消灯 交互に点滅	『ピーピーピーピー』と4回だけ鳴る	<input type="checkbox"/> SDカードの容量が不足しています。 ・専用ソフトで「上書きモード」を[ON]にする。 ・容量が大きいSDカードで録画する。 ※履歴記録の容量が不足している場合は、音によるお知らせのみになります。

故障かな？と思ったら

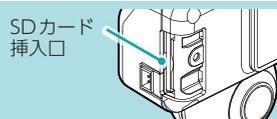
電源がONにならない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。
ヒューズホルダーの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。



映像が記録できない

- SDカードは正しく挿入されていますか。



室内の映像が暗い

- NIGHT(ナイト)モードをONにしてください。
映像を明るく表示します。(● P.71、74)

イベント記録ファイルが生成されない

- 常時録画中に記録ボタンを押してください。
本機は常時録画中に記録ボタンを押すことで、ワンタッチ記録を行います。(● P.24)
- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できないことがあります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(● P.23「常時録画」)
- 接近監視モードでは、ワンタッチ記録を行うことはできません。
- DVRモードでは、近接近・傾斜・ドア開を検出することはできません。

Bluetoothペアリングできない

- 接続情報を削除してから再度、Bluetoothペアリングを行ってください。
iOSの場合 …………… 専用アプリ操作画面の[バージョン情報]→[Bluetooth接続情報を削除]にタッチして接続情報を削除し、スマートフォンの[設定]→[Bluetooth]からデバイスの登録を削除してから再度、Bluetoothペアリングを行ってください。(● P.58)
- Androidの場合 …… スマートフォンの[設定]→[Bluetooth]からデバイスの登録を削除してから再度、Bluetoothペアリングを行ってください。(● P.58)

動作トリガ[エリアAUTO]が動作しない

- スマートフォンに専用アプリの画面を表示してください。
バックグラウンドで専用アプリが動作している場合、動作トリガ[エリアAUTO]が正常に動作できないことがあります。

専用ソフトで地図が表示されない

- GPSを測位していません。
ビルの谷間など視界の悪い場所では測位しにくい場合があります。障害物や遮へい物の無い視界の良い場所へ移動し、車両を停車してGPS信号を受信してください。



- 購入後、初めての使用ですか。
初めて使用する場合、測位に時間がかかることがあります。
障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10～20分程度通電状態にし、GPS信号を受信させてください。

駐車監視できない

- 車両のバッテリーは弱っていませんか。
車両のバッテリーが検出電圧設定以下の場合、駐車監視を行うことはできません。
(☛ P.67、99)

駐車監視時にマルチバッテリーから電源供給されない

- 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.40)
- 記録時間(マルチバッテリー)の接続時の設定が「使用しない」になっていませんか。
記録時間(マルチバッテリー)の設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.67、100)
- ディップスイッチ4がONになっていませんか。
ディップスイッチ4がONになっていると、車両のエンジンOFF後の本機への電源供給が行われません。(☛ P.69、101)

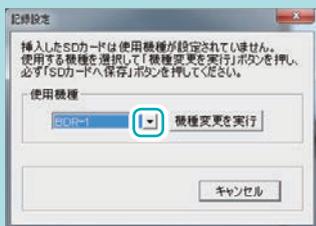
専用ソフトを起動すると「このSDカードの記録データを読み込むことができません。実行ユーザーの権限などを確認してください。(3.5)」と表示される

- 「管理者権限」で専用ソフトを起動していますか。
パソコンのローカルディスクC：¥Program Files*1 ¥PC Browser フォルダを開いて、「PCBrowser.exe」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「互換性」タブ内の、「特権レベル」から、「管理者としてプログラムを実行する」にチェックを入れてください。
※ 1：32bit 環境の場合は「Program Files」と表示され、64bit 環境では「Program Files(x86)」と表示されます。

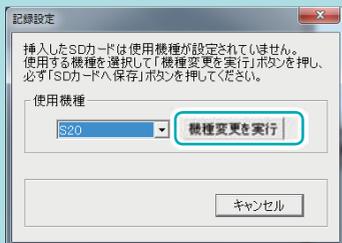
専用ソフトでSDカードを読み込むと「挿入したSDカードは使用機種が設定されていません。」と表示される

□ 下記の手順に沿って使用機種を設定してください。

① 使用機種の▼をクリックし使用機種を選択する



② 「機種変更を実行」をクリックする

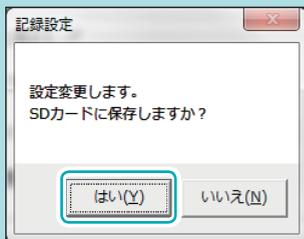


③ 設定画面の[SDカードへ保存]をクリックする



※ [キャンセル] を選択した場合、設定が保存されません。

④ [はい] をクリックする



SDカードに使用機種の設定が保存されます。

仕様

外形寸法 (突起部除く)	98(W)×74(H)×58(D)mm (突起部除く) ※ 取付ブラケット (テープ貼付)装着時85(H)mm (窓ガラス 25° 想定の場合)
本体重量	約 177g (ブラケット、SDカード含む)
記録媒体	SDHCカード (8GB ~ 32GB) (16GB 付属)、 SDXCカード (64GB ~ 128GB)
撮像素子	200万画素カラー CMOS (STARVIS™技術搭載*1)
視野角	水平 360° × 垂直 360° (2カメラ映像を合成)
記録解像度	最大 280万画素*2
	高 (2560 × 1080) / 低 (1792 × 756)
GPS	有
Gセンサー	有
画質	HDR (ハイダイナミックレンジ)
記録方式	常時録画 / イベント記録 (Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>)
音声	ON / OFF 可能
イベント記録時間*3 (前後記録時間)	60秒 (30,30)、50秒 (30,20) (25,25)、40秒 (20,20) (25,15) (30,10)、 30秒 (18,12) (20,10)、20秒 (10,10) (12,8) (15,5)
フレームレート	30コマ/秒、15コマ/秒、10コマ/秒、5コマ/秒、1コマ/秒 2コマ/分*4、1コマ/分*4 12コマ/時*4、6コマ/時*4
映像ファイル形式	独自フォーマット
記録映像 再生方法	専用ブラウザソフト*5 (弊社ホームページよりダウンロードできます。)
マイクロ波 センサー	適合技術基準：特定小電力無線局 移動体検知センサー
	センサータイプ：ドップラーセンサー
	発振周波数帯：K バンド 24GHz 帯
Bluetooth	適合技術基準：小電力データ通信システム無線局
	通信規格：Bluetooth LE
	使用周波数：2.4GHz 帯
電源電圧	DC12V(9~16V DC12V マイナスアース車専用)
消費電力	4W
動作温度範囲	-10℃ ~ +60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※ 上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※ 1：STARVIS (スタービス) は、監視カメラ用途 CMOS イメージセンサー向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニー株式会社の裏面照射型画素技術です。

※ 2：専用ブラウザソフトの画像処理で減少します。

※ 3：イベント記録は G センサー記録、ワンタッチ記録、近接近、衝撃、傾斜、ドア開になります。

※ 4：接近監視モード時は、30,15,10,5,1 コマ/秒のみになります。

※ 5：Microsoft Windows10、8、7に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000)

入力電圧	DC12V(最大6A)
出力電圧	出力端子B:12V(1A)
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0～45℃
外形寸法	144(W) × 33(H) × 131(D)mm(突起部除く)
本体重量	約950g(内蔵電池含む)

- ・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。
- ・STARVISは、ソニー株式会社の商標です。

録画時間の目安

録画方法(P.66、95)によって録画時間が変化することはありません。

※下記値は目安で、絶対保証値ではありません。

1. 常時録画の録画時間

■ 解像度 [高(2560 × 1080)]

	8GB	16GB(付属)	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	50分	100分	200分	400分	800分
15コマ/秒	100分	200分	400分	800分	1,600分
10コマ/秒	150分	300分	600分	1,200分	2,400分
5コマ/秒	300分	600分	1,200分	2,400分	4,800分
1コマ/秒	750分	1,500分	3,000分	6,000分	12,000分
2コマ/分	375時間	750時間	1,500時間	3,000時間	6,000時間
1コマ/分	750時間	1,500時間	3,000時間	6,000時間	12,000時間
12コマ/時	3,750時間	7,500時間	15,000時間	30,000時間	60,000時間
6コマ/時	7,500時間	15,000時間	30,000時間	60,000時間	120,000時間

■ 解像度 [低(1792 × 756)]

	8GB	16GB(付属)	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	75分	150分	300分	600分	1,200分
15コマ/秒	150分	300分	600分	1,200分	2,400分
10コマ/秒	225分	450分	900分	1,800分	3,600分
5コマ/秒	450分	900分	1,800分	3,600分	7,200分
1コマ/秒	1,125分	2,250分	4,500分	9,000分	18,000分
2コマ/分	700時間	1,400時間	2,800時間	5,600時間	11,200時間
1コマ/分	1,400時間	2,800時間	5,600時間	11,200時間	22,400時間
12コマ/時	7,000時間	14,000時間	28,000時間	56,000時間	112,000時間
6コマ/時	14,000時間	28,000時間	56,000時間	112,000時間	224,000時間

2. 駐車監視の録画時間

■ 解像度 [高(2560 × 1080)]

	8GB	16GB(付属)	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	50分	100分	200分	400分	800分
15コマ/秒	100分	200分	400分	800分	1,600分
10コマ/秒	150分	300分	600分	1,200分	2,400分
5コマ/秒	300分	600分	1,200分	2,400分	4,800分
1コマ/秒	750分	1,500分	3,000分	6,000分	12,000分

■ 解像度 [低(1792 × 756)]

	8GB	16GB(付属)	32GB	64GB	128GB
30コマ/秒	75分	150分	300分	600分	1,200分
15コマ/秒	150分	300分	600分	1,200分	2,400分
10コマ/秒	225分	450分	900分	1,800分	3,600分
5コマ/秒	450分	900分	1,800分	3,600分	7,200分
1コマ/秒	1,125分	2,250分	4,500分	9,000分	18,000分

3. イベント記録の目安記録件数

付属のSDカード(16GB)で、以下ようになります。

※128GBでは8倍、64GBでは4倍、32GBでは2倍、8GBでは半分の記録件数になります。

■ 解像度 [高(2560 × 1080)]

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
イベント記録時間 前後の合計60秒	40件	80件	120件	240件	1,200件
イベント記録時間 前後の合計50秒	48件	96件	144件	288件	1,440件
イベント記録時間 前後の合計40秒	60件	120件	180件	360件	1,800件
イベント記録時間 前後の合計30秒	80件	160件	240件	480件	2,400件
イベント記録時間 前後の合計20秒	120件	240件	360件	720件	3,600件

■ 解像度 [低(1792 × 756)]

	30コマ/秒	15コマ/秒	10コマ/秒	5コマ/秒	1コマ/秒
イベント記録時間 前後の合計60秒	60件	120件	180件	360件	1,800件
イベント記録時間 前後の合計50秒	72件	144件	216件	432件	2,160件
イベント記録時間 前後の合計40秒	90件	180件	270件	540件	2,700件
イベント記録時間 前後の合計30秒	120件	240件	360件	720件	3,600件
イベント記録時間 前後の合計20秒	180件	360件	540件	1,080件	5,400件

索引

B

Bluetooth	115
Bluetoothペアリング	58

D

DVR(ドライブレコーダー)モード	22
-------------------	----

G

GPS	115
Gセンサー	115
Gセンサー記録	24, 66, 97

N

NIGHT(ナイト)モード	71, 74
---------------	--------

O

OP-CB001	18
OP-MB4000	18, 39
OP-SD08	18
OP-SD16	18
OP-SD32	18
OP-SD64	18
OP-SD128	18

S

SDカード	12, 18, 19
SDカードカバー	17, 21
STARTボタン	17, 22
STOPボタン	17, 22

あ

アフターサービス	123
----------	-----

い

移行時間	67, 99
一時監視エリア	55
一時キャンセルエリア	56
緯度・経度表示	72
イベント記録	24, 27, 118
イベント記録時間	66, 67, 95, 98, 115
印刷	82
インフォメーション	104

う

上書きモード	29, 66, 96
--------	------------

え

映像ファイル形式	115
エリア感度	68, 100

エリア感度設定	62
エリア感度レベル	62
エリア検出	27
エリアセンサー	31

お

お客様ご相談センター	123
音声	115
音声録音	66, 96
音量切替ボタン	72

か

外形寸法	115
解像度	66, 67, 95, 98
画質	115
加速度センサーグラフ	72
加速度表示	72
カメラ待機時間	67, 99

き

技術基準適合証明ラベル	17
キャンセルエリア	54
強衝撃	100
強衝撃感度	68
記録解像度	115
記録時間	68
記録媒体	115
記録方式	115
記録ボタン	17, 22
近接近	27, 68, 100
近接近記録	67, 98

け

傾斜	28, 99
傾斜センサ	68
警報音	68, 99
検出電圧	68, 99

さ

再生方法	115
再生ボタン	72
撮影素子	115

し

視野角	115
弱衝撃	100
弱衝撃感度	68

索引

車両バッテリー電圧	62
使用機種	102
衝撃	28
常時録画	23, 117
消費電力	115
シリアルナンバー	17

す

スピーカー	17
スリープモード	22

せ

静止画変換	81
製品保証期間	115
精密サラネジ	18
接近監視モード	22, 53
接続ケーブル	18
設置角度検出	43, 97
センサーテスト	45
専用アプリ	57
専用ソフト	42

そ

走行速度表示	72
--------	----

ち

地図表示	72
駐車監視	51, 118

て

電源ケーブル	18
電源コネクタ	17
電源電圧	115
電源ランプ	17
電池残容量	62

と

ドア開	28, 99
ドア開警報ディスプレイ	67, 99
ドア開センサ	68
動画変換	80
動作温度範囲	115
動作状態	61
動作トリガ	51, 52, 67, 98

に

日時設定	102
------	-----

は

バックアップ	79
--------	----

ひ

ビーブ音	66, 102
日付・時刻	71
表示エリア	71

ふ

フォーマット	14
ブザー	17
付属品・別売品の購入について	18
ブラケット	17, 18
プレイリスト一覧	72
フレームレート	115

ほ

本体重量	115
------	-----

ま

マイク	17
マイクロ波センサー	115
マイクロ波センサAUTO感度	68, 100
マルチトリガー	30
マルチバッテリー	18, 39

め

メニューバー	71
メンテナンス	32

り

両面テープ	18
履歴記録	83
履歴記録コマ数	66, 96
履歴記録時間	96

れ

レンズ	17
-----	----

ろ

録画コマ数	66, 67, 95, 98
録画方法	66, 67, 95, 98
録画ランプ	17
ログデータ変換	85, 87
六角ネジ	17, 18
六角レンチ	18

わ

ワンタッチ記録	24
---------	----

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書、専用アプリ、専用ソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。

<https://www.yupiter.co.jp/>